

Ⅱ. 市内産業の概況分析

統計データより市内産業の概況を把握するとともに、事業所の移転・進出等を整理した。

2-1. 産業構造

(1) 概況

経済センサスにおける産業別従業者数から本市産業の構成比をみると、従業者が多いのは、「卸売業、小売業」(22.3%)、「医療、福祉」(16.1%)、「運輸業、郵便業」(12.0%)、「製造業」(10.3%)であり、これらの4つの産業で市内従業者数全体のほぼ6割(60.7%)を占める。

大阪府全体の構成比と比較すると、本市は「運輸業、郵便業」、「教育、学習支援業」、「医療、福祉」の3つは構成比が1.5ポイント以上、上回っており割合が大きい。一方、「製造業」では、本市(10.3%)で大阪府(13.1%)を下回る。

図表-1 従業地における産業大分類の従業者数(2021年)

(単位:人)

従業者数(2021年)	従業者数						構成比					
	茨木市	吹田市	高槻市	箕面市	摂津市	大阪府	茨木市	吹田市	高槻市	箕面市	摂津市	大阪府
総数	107,328	153,596	106,438	41,403	50,144	4,528,208	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
農林漁業	165	134	150	97	19	2,932	0.2%	0.1%	0.1%	0.2%	0.0%	0.1%
鉱業、採石業、砂利採取業	32	1	69	6	-	207	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	-	0.0%
建設業	5,113	8,751	5,270	2,323	3,938	242,668	4.8%	5.7%	5.0%	5.6%	7.9%	5.4%
製造業	11,086	7,553	12,284	2,065	13,483	593,281	10.3%	4.9%	11.5%	5.0%	26.9%	13.1%
電気・ガス・熱供給・水道業	158	140	209	27	42	15,774	0.1%	0.1%	0.2%	0.1%	0.1%	0.3%
情報通信業	1,387	3,370	1,060	243	78	182,399	1.3%	2.2%	1.0%	0.6%	0.2%	4.0%
運輸業、郵便業	12,840	6,540	7,865	2,551	10,111	272,347	12.0%	4.3%	7.4%	6.2%	20.2%	6.0%
卸売業、小売業	23,881	36,444	21,734	11,831	7,954	970,064	22.3%	23.7%	20.4%	28.6%	15.9%	21.4%
金融業、保険業	1,959	3,030	1,543	441	374	117,785	1.8%	2.0%	1.4%	1.1%	0.7%	2.6%
不動産業、物品賃貸業	3,945	5,341	3,060	1,925	1,485	167,919	3.7%	3.5%	2.9%	4.6%	3.0%	3.7%
学術研究、専門・技術サービス業	5,168	6,839	2,264	967	1,218	175,058	4.8%	4.5%	2.1%	2.3%	2.4%	3.9%
宿泊業、飲食サービス業	8,064	12,506	9,736	4,554	1,858	362,394	7.5%	8.1%	9.1%	11.0%	3.7%	8.0%
生活関連サービス業、娯楽業	3,252	6,659	4,065	1,244	811	152,666	3.0%	4.3%	3.8%	3.0%	1.6%	3.4%
教育、学習支援業	5,717	15,440	4,991	1,937	1,347	159,319	5.3%	10.1%	4.7%	4.7%	2.7%	3.5%
医療、福祉	17,298	28,162	24,831	8,744	3,612	648,267	16.1%	18.3%	23.3%	21.1%	7.2%	14.3%
複合サービス事業	308	569	962	148	232	20,377	0.3%	0.4%	0.9%	0.4%	0.5%	0.5%
サービス業(他に分類されないもの)	6,955	12,117	6,345	2,300	3,582	444,751	6.5%	7.9%	6.0%	5.6%	7.1%	9.8%

(資料)総務省「経済センサス(令和3年)活動調査」

(2) 近年の事業所数、従業者数の変化

2016年から2021年にかけての5年間では、本市の事業所数は334か所減少する一方、従業員数は5,004人増加し、大阪府全体を上回る増加率となっている。

業種別に見ると、従業員数100人以上では「情報通信業」(158.8%)と「学術研究、専門・技術サービス業」(59.0%)が特に増加率が大きく、なかでも「学術研究、専門・技術サービス業」は、近隣4市と大阪府全体の中で最も増加率が大きい。また、増加した人数でみると、「運輸業、郵便業」(2,462人増)が最も多く、次いで「学術研究、専門・技術サービス業」(1,918人増)と続く。

一方、従業者数の減少率が大きい業種は、「農林漁業」(21.4%減)と「宿泊業、飲食サービス業」(17.0%減)であり、いずれも近隣4市と大阪府全体の中で最も減少率が大きい。また、減少した人数でみると、「宿泊業、飲食サービス業」(1,654人減)が最も多く、次いで「卸売業、小売業」(521人減)、「生活関連サービス業、娯楽業」(388人減)、「金融業、保険業」(366人減)と続く。

図表-2 産業大分類別の事業所数・従業者数の変化(2016年→2021年)

(単位: か所、人)

茨木市	事業所数				従業者数			
	2016年	2021年	増減	増減率	2016年	2021年	増減	増減率
総数	9,279	8,945	-334	-3.6%	102,324	107,328	5,004	4.9%
農林漁業	13	19	6	46.2%	210	165	-45	-21.4%
鉱業、採石業、砂利採取業	1	4	3	300.0%	4	32	28	700.0%
建設業	673	682	9	1.3%	4,926	5,113	187	3.8%
製造業	453	430	-23	-5.1%	10,601	11,086	485	4.6%
電気・ガス・熱供給・水道業	9	11	2	22.2%	168	158	-10	-6.0%
情報通信業	58	66	8	13.8%	536	1,387	851	158.8%
運輸業、郵便業	372	384	12	3.2%	10,378	12,840	2,462	23.7%
卸売業、小売業	2,274	2,037	-237	-10.4%	24,402	23,881	-521	-2.1%
金融業、保険業	110	112	2	1.8%	2,325	1,959	-366	-15.7%
不動産業、物品賃貸業	1,199	1,181	-18	-1.5%	4,003	3,945	-58	-1.4%
学術研究、専門・技術サービス業	295	359	64	21.7%	3,250	5,168	1,918	59.0%
宿泊業、飲食サービス業	1,185	958	-227	-19.2%	9,718	8,064	-1,654	-17.0%
生活関連サービス業、娯楽業	748	699	-49	-6.6%	3,640	3,252	-388	-10.7%
教育、学習支援業	406	385	-21	-5.2%	5,663	5,717	54	1.0%
医療、福祉	949	1,031	82	8.6%	15,495	17,298	1,803	11.6%
複合サービス事業	33	33	0	0.0%	301	308	7	2.3%
サービス業(他に分類されないもの)	501	554	53	10.6%	6,704	6,955	251	3.7%

(単位: か所、人)

吹田市	事業所数				従業者数			
	2016年	2021年	増減	増減率	2016年	2021年	増減	増減率
総数	11,526	11,703	177	1.5%	144,593	153,596	9,003	6.2%
農林漁業	5	11	6	120.0%	38	134	96	252.6%
鉱業、採石業、砂利採取業	-	1	-	-	-	1	-	-
建設業	824	865	41	5.0%	7,621	8,751	1,130	14.8%
製造業	441	455	14	3.2%	6,968	7,553	585	8.4%
電気・ガス・熱供給・水道業	7	11	4	57.1%	114	140	26	22.8%
情報通信業	189	223	34	18.0%	2,960	3,370	410	13.9%
運輸業、郵便業	222	181	-41	-18.5%	5,715	6,540	825	14.4%
卸売業、小売業	3,236	3,083	-153	-4.7%	36,510	36,444	-66	-0.2%
金融業、保険業	140	159	19	13.6%	2,308	3,030	722	31.3%
不動産業、物品賃貸業	1,234	1,358	124	10.0%	5,165	5,341	176	3.4%
学術研究、専門・技術サービス業	526	664	138	26.2%	6,120	6,839	719	11.7%
宿泊業、飲食サービス業	1,354	1,188	-166	-12.3%	13,219	12,506	-713	-5.4%
生活関連サービス業、娯楽業	978	906	-72	-7.4%	7,772	6,659	-1,113	-14.3%
教育、学習支援業	487	515	28	5.7%	14,805	15,440	635	4.3%
医療、福祉	1,263	1,405	142	11.2%	25,603	28,162	2,559	10.0%
複合サービス事業	42	42	0	0.0%	669	569	-100	-14.9%
サービス業(他に分類されないもの)	578	636	58	10.0%	9,006	12,117	3,111	34.5%

(単位: か所、人)

高槻市	事業所数				従業者数			
	2016年	2021年	増減	増減率	2016年	2021年	増減	増減率
総数	9,320	9,224	-96	-1.0%	102,933	106,438	3,505	3.4%
農林漁業	15	21	6	40.0%	77	150	73	94.8%
鉱業、採石業、砂利採取業	1	2	1	100.0%	53	69	16	30.2%
建設業	755	797	42	5.6%	5,182	5,270	88	1.7%
製造業	413	401	-12	-2.9%	11,730	12,284	554	4.7%
電気・ガス・熱供給・水道業	8	10	2	25.0%	392	209	-183	-46.7%
情報通信業	52	64	12	23.1%	307	1,060	753	245.3%
運輸業、郵便業	234	257	23	9.8%	7,153	7,865	712	10.0%
卸売業、小売業	2,247	2,036	-211	-9.4%	22,529	21,734	-795	-3.5%
金融業、保険業	121	113	-8	-6.6%	1,852	1,543	-309	-16.7%
不動産業、物品賃貸業	794	848	54	6.8%	3,285	3,060	-225	-6.8%
学術研究、専門・技術サービス業	304	376	72	23.7%	1,939	2,264	325	16.8%
宿泊業、飲食サービス業	1,258	1,090	-168	-13.4%	10,278	9,736	-542	-5.3%
生活関連サービス業、娯楽業	1,010	946	-64	-6.3%	4,577	4,065	-512	-11.2%
教育、学習支援業	403	412	9	2.2%	3,673	4,991	1,318	35.9%
医療、福祉	1,164	1,252	88	7.6%	22,678	24,831	2,153	9.5%
複合サービス事業	58	58	0	0.0%	1,067	962	-105	-9.8%
サービス業(他に分類されないもの)	483	541	58	12.0%	6,161	6,345	184	3.0%

(単位：か所、人)

箕面市	事業所数				従業者数			
	2016年	2021年	増減	増減率	2016年	2021年	増減	増減率
総数	4,215	4,159	-56	-1.3%	41,537	41,403	-134	-0.3%
農林漁業	7	9	2	28.6%	60	97	37	61.7%
鉱業、採石業、砂利採取業	1	1	0	0.0%	9	6	-3	-33.3%
建設業	311	342	31	10.0%	2,049	2,323	274	13.4%
製造業	127	129	2	1.6%	1,720	2,065	345	20.1%
電気・ガス・熱供給・水道業	2	5	3	150.0%	21	27	6	28.6%
情報通信業	40	52	12	30.0%	346	243	-103	-29.8%
運輸業、郵便業	95	101	6	6.3%	2,066	2,551	485	23.5%
卸売業、小売業	1,203	1,090	-113	-9.4%	12,907	11,831	-1,076	-8.3%
金融業、保険業	39	39	0	0.0%	487	441	-46	-9.4%
不動産業、物品賃貸業	548	581	33	6.0%	1,695	1,925	230	13.6%
学術研究、専門・技術サービス業	141	164	23	16.3%	932	967	35	3.8%
宿泊業、飲食サービス業	523	422	-101	-19.3%	5,441	4,554	-887	-16.3%
生活関連サービス業、娯楽業	322	301	-21	-6.5%	1,419	1,244	-175	-12.3%
教育、学習支援業	160	148	-12	-7.5%	2,102	1,937	-165	-7.8%
医療、福祉	457	513	56	12.3%	7,401	8,744	1,343	18.1%
複合サービス事業	15	15	0	0.0%	171	148	-23	-13.5%
サービス業(他に分類されないもの)	224	247	23	10.3%	2,711	2,300	-411	-15.2%

(単位：か所、人)

摂津市	事業所数				従業者数			
	2016年	2021年	増減	増減率	2016年	2021年	増減	増減率
総数	4,082	3,935	-147	-3.6%	50,781	50,144	-637	-1.3%
農林漁業	3	6	3	100.0%	9	19	10	111.1%
鉱業、採石業、砂利採取業	-	-	-	-	-	-	-	-
建設業	397	451	54	13.6%	2,794	3,938	1,144	40.9%
製造業	708	650	-58	-8.2%	15,029	13,483	-1,546	-10.3%
電気・ガス・熱供給・水道業	4	4	0	0.0%	37	42	5	13.5%
情報通信業	11	13	2	18.2%	111	78	-33	-29.7%
運輸業、郵便業	336	346	10	3.0%	10,197	10,111	-86	-0.8%
卸売業、小売業	859	738	-121	-14.1%	8,250	7,954	-296	-3.6%
金融業、保険業	34	32	-2	-5.9%	454	374	-80	-17.6%
不動産業、物品賃貸業	418	417	-1	-0.2%	1,457	1,485	28	1.9%
学術研究、専門・技術サービス業	65	78	13	20.0%	1,009	1,218	209	20.7%
宿泊業、飲食サービス業	365	308	-57	-15.6%	2,080	1,858	-222	-10.7%
生活関連サービス業、娯楽業	253	225	-28	-11.1%	1,020	811	-209	-20.5%
教育、学習支援業	97	104	7	7.2%	1,278	1,347	69	5.4%
医療、福祉	243	263	20	8.2%	3,610	3,612	2	0.1%
複合サービス事業	11	11	0	0.0%	245	232	-13	-5.3%
サービス業(他に分類されないもの)	278	289	11	4.0%	3,201	3,582	381	11.9%

(単位：か所、人)

大阪府	事業所数				従業者数			
	2016年	2021年	増減	増減率	2016年	2021年	増減	増減率
総数	392,940	384,332	-8,608	-2.2%	4,393,139	4,528,208	135,069	3.1%
農林漁業	292	366	74	25.3%	2,428	2,932	504	20.8%
鉱業、採石業、砂利採取業	13	17	4	30.8%	132	207	75	56.8%
建設業	25,089	27,254	2,165	8.6%	222,338	242,668	20,330	9.1%
製造業	42,680	38,943	-3,737	-8.8%	604,086	593,281	-10,805	-1.8%
電気・ガス・熱供給・水道業	229	340	111	48.5%	12,504	15,774	3,270	26.2%
情報通信業	5,842	6,909	1,067	18.3%	139,601	182,399	42,798	30.7%
運輸業、郵便業	10,489	10,121	-368	-3.5%	256,896	272,347	15,451	6.0%
卸売業、小売業	99,597	90,008	-9,589	-9.6%	1,002,387	970,064	-32,323	-3.2%
金融業、保険業	5,442	5,412	-30	-0.6%	124,950	117,785	-7,165	-5.7%
不動産業、物品賃貸業	33,574	36,325	2,751	8.2%	146,899	167,919	21,020	14.3%
学術研究、専門・技術サービス業	18,083	21,640	3,557	19.7%	146,694	175,058	28,364	19.3%
宿泊業、飲食サービス業	52,979	44,729	-8,250	-15.6%	415,766	362,394	-53,372	-12.8%
生活関連サービス業、娯楽業	29,366	27,032	-2,334	-7.9%	169,344	152,666	-16,678	-9.8%
教育、学習支援業	11,546	11,746	200	1.7%	143,651	159,319	15,668	10.9%
医療、福祉	34,357	38,092	3,735	10.9%	574,571	648,267	73,696	12.8%
複合サービス事業	1,380	1,373	-7	-0.5%	21,080	20,377	-703	-3.3%
サービス業(他に分類されないもの)	21,982	24,025	2,043	9.3%	409,812	444,751	34,939	8.5%

(資料) 総務省「経済センサス(平成28年)(令和3年)」

(3) 従業員規模別比較

従業者規模別に 2016 年から 2021 年の 5 年間の推移を見ると、本市では「50～99 人」では事業所数、従業者数ともに減少している。これは、近隣 4 市や大阪府全体ではみられない傾向である。

一方、「100 人以上」では事業所数、従業者数ともに増加しており、特に従業者数の増加率(23.2%)は近隣 4 市や大阪府全体よりも大きい。

図表-3 従業員規模別の事業所数・従業者数の変化(2016 年→2021 年)

(単位：か所、人)

茨木市	事業所数				従業者数			
	2016年	2021年	増減	増減率	2016年	2021年	増減	増減率
総数	9,279	8,945	-334	-3.6%	102,324	107,328	5,004	4.9%
1～9人	6,924	6,538	-386	-5.6%	22,700	21,397	-1,303	-5.7%
10～29人	1,602	1,627	25	1.6%	26,140	26,867	727	2.8%
30～49人	368	375	7	1.9%	13,898	14,122	224	1.6%
50～99人	225	223	-2	-0.9%	15,423	15,184	-239	-1.5%
100人以上	111	123	12	10.8%	24,163	29,758	5,595	23.2%

(単位：か所、人)

吹田市	事業所数				従業者数			
	2016年	2021年	増減	増減率	2016年	2021年	増減	増減率
総数	11,526	11,703	177	1.5%	144,593	153,596	9,003	6.2%
1～9人	8,413	8,402	-11	-0.1%	29,598	29,088	-510	-1.7%
10～29人	2,185	2,338	153	7.0%	35,853	38,296	2,443	6.8%
30～49人	442	439	-3	-0.7%	16,520	16,633	113	0.7%
50～99人	262	264	2	0.8%	18,160	17,832	-328	-1.8%
100人以上	152	173	21	13.8%	44,462	51,747	7,285	16.4%

(単位：か所、人)

高槻市	事業所数				従業者数			
	2016年	2021年	増減	増減率	2016年	2021年	増減	増減率
総数	9,320	9,224	-96	-1.0%	102,933	106,438	3,505	3.4%
1～9人	7,223	6,996	-227	-3.1%	23,803	22,471	-1,332	-5.6%
10～29人	1,457	1,527	70	4.8%	24,607	25,355	748	3.0%
30～49人	300	319	19	6.3%	11,292	11,911	619	5.5%
50～99人	171	207	36	21.1%	11,758	14,232	2,474	21.0%
100人以上	127	127	0	0.0%	31,473	32,469	996	3.2%

(単位：か所、人)

箕面市	事業所数				従業者数			
	2016年	2021年	増減	増減率	2016年	2021年	増減	増減率
総数	4,215	4,159	-56	-1.3%	41,537	41,403	-134	-0.3%
1～9人	3,165	3,081	-84	-2.7%	10,690	10,075	-615	-5.8%
10～29人	732	757	25	3.4%	11,647	12,315	668	5.7%
30～49人	164	152	-12	-7.3%	6,168	5,842	-326	-5.3%
50～99人	92	105	13	14.1%	6,123	7,046	923	15.1%
100人以上	43	35	-8	-18.6%	6,909	6,125	-784	-11.3%

(単位：か所、人)

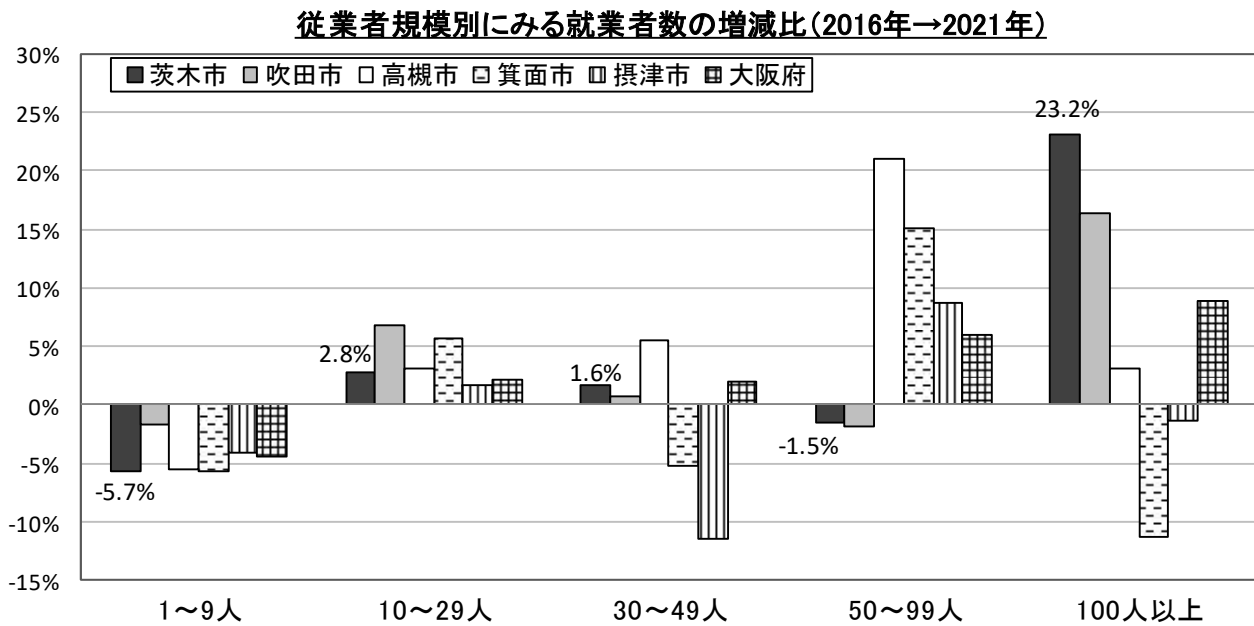
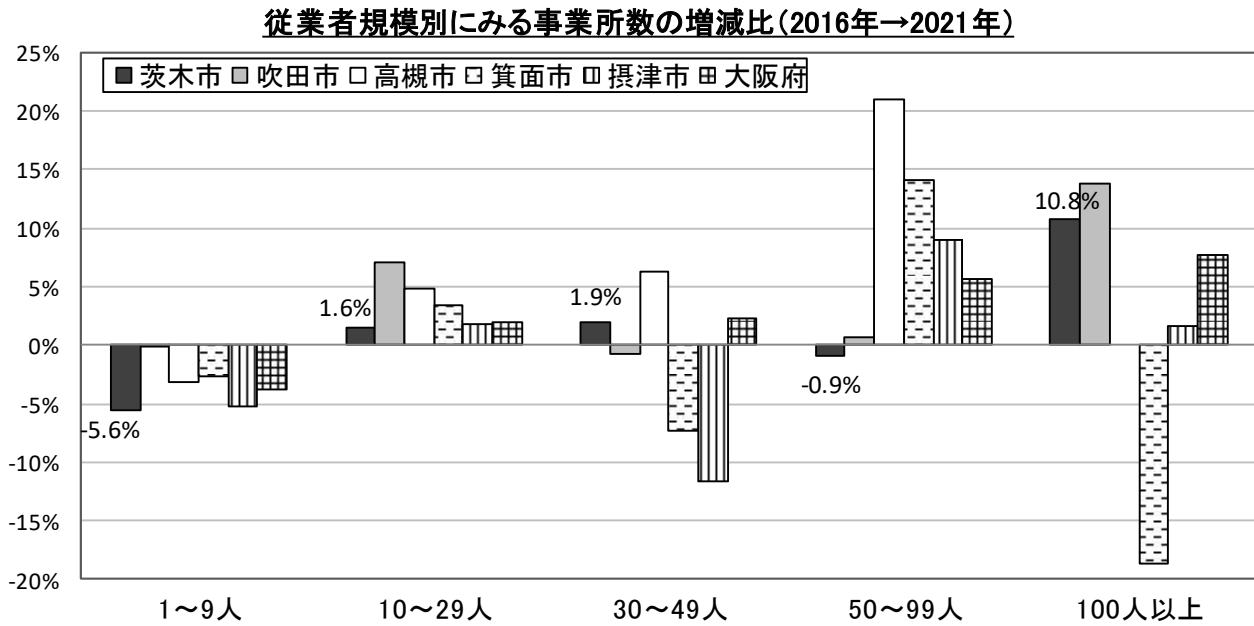
摂津市	事業所数				従業者数			
	2016年	2021年	増減	増減率	2016年	2021年	増減	増減率
総数	4,082	3,935	-147	-3.6%	50,781	50,144	-637	-1.3%
1～9人	2,980	2,826	-154	-5.2%	10,369	9,940	-429	-4.1%
10～29人	763	777	14	1.8%	12,704	12,918	214	1.7%
30～49人	172	152	-20	-11.6%	6,535	5,790	-745	-11.4%
50～99人	89	97	8	9.0%	6,111	6,643	532	8.7%
100人以上	59	60	1	1.7%	15,062	14,853	-209	-1.4%

(単位：か所、人)

大阪府	事業所数				従業者数			
	2016年	2021年	増減	増減率	2016年	2021年	増減	増減率
総数	392,940	384,332	-8,608	-2.2%	4,393,139	4,528,208	135,069	3.1%
1～9人	299,008	287,458	-11,550	-3.9%	993,615	949,521	-44,094	-4.4%
10～29人	65,918	67,243	1,325	2.0%	1,076,529	1,099,730	23,201	2.2%
30～49人	13,042	13,333	291	2.2%	492,352	501,888	9,536	1.9%
50～99人	7,991	8,439	448	5.6%	546,597	579,710	33,113	6.1%
100人以上	4,956	5,335	379	7.6%	1,284,046	1,397,359	113,313	8.8%

(資料)総務省「経済センサス(平成 28 年)(令和3年)活動調査」

図表-4 従業員規模別の事業所数・従業員数の増減比(2016年→2021年)



(資料)総務省「経済センサス(令和3年)活動調査」

(4) 開業率、廃業率の推移

2016年から2022年にかけての推移を見ると、本市を含む茨木区分※は、全国平均や大阪府全体と比べると、2017年までは開業率は上回り、廃業率は下回るという、開業する事業者が比較的多い地域であった。

しかし、2018年は、開業率よりも廃業率が上回る状況に一転し、特に2019年は廃業率(5.29%)が大きく、全国平均や大阪府全体との差が顕著にみられる。

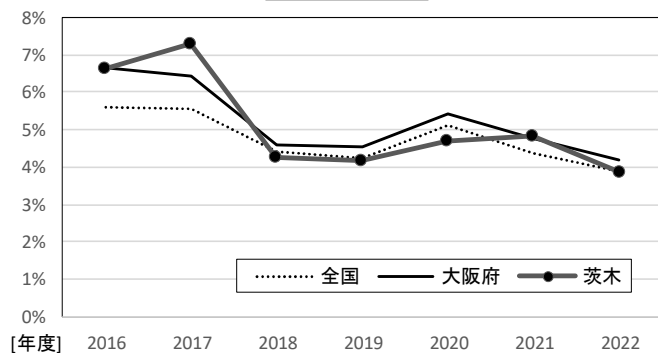
2020年から2021年にかけては開業率が増加し、廃業率が減少したが、2022年には開業率の減少、廃業率の増加の傾向が再びみられることから、茨木区分においては今後も廃業率増加の傾向が続く可能性があるものと懸念される。

図表-5 開業率、廃業率の変化(2016年→2022年)

《開業率》

年度	茨木	全国	大阪府
2016	6.62%	5.60%	6.67%
2017	7.28%	5.55%	6.43%
2018	4.25%	4.41%	4.57%
2019	4.16%	4.25%	4.53%
2020	4.69%	5.11%	5.41%
2021	4.82%	4.37%	4.76%
2022	3.86%	3.88%	4.19%

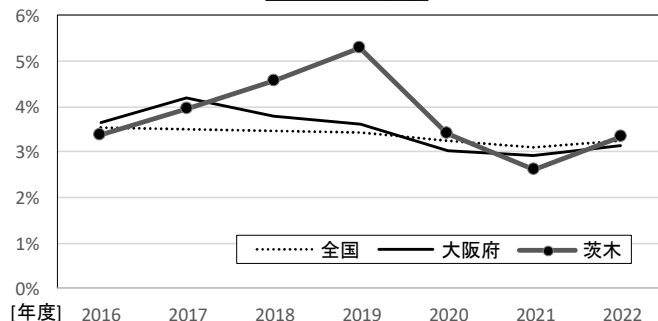
開業率の推移



《廃業率》

年度	茨木	全国	大阪府
2016	3.38%	3.52%	3.66%
2017	3.94%	3.49%	4.20%
2018	4.57%	3.47%	3.78%
2019	5.29%	3.43%	3.61%
2020	3.41%	3.25%	3.02%
2021	2.62%	3.12%	2.92%
2022	3.35%	3.25%	3.13%

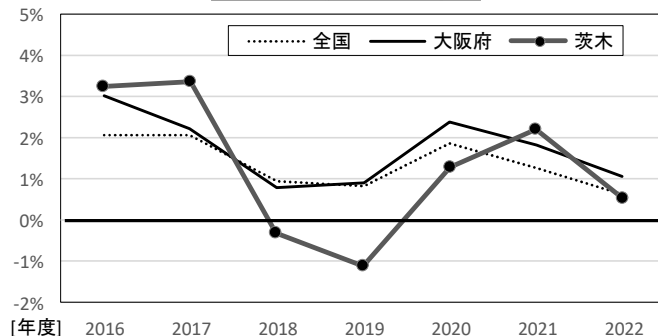
廃業率の推移



《開業率－廃業率》

年度	茨木	全国	大阪府
2016	3.25%	2.08%	3.01%
2017	3.35%	2.06%	2.23%
2018	-0.32%	0.94%	0.79%
2019	-1.13%	0.82%	0.92%
2020	1.28%	1.85%	2.39%
2021	2.21%	1.25%	1.84%
2022	0.51%	0.63%	1.06%

開業率－廃業率の推移



出典:厚生労働省『雇用保険事業年報』(全国・府データ)、大阪労働局統計年報 雇用保険業務関係(「茨木」データ)
(開業率は当年度の新規事業所数合計を、廃業率は当年度の廃止事業所数合計を、それぞれ前年度末の適用事業所数で除したものを示す)

※茨木区分は茨木公共職業安定所の管轄区域内の統計(茨木市、高槻市、摂津市、三島郡島本町の3市1町)を示す。

(5) 有効求人倍率の推移

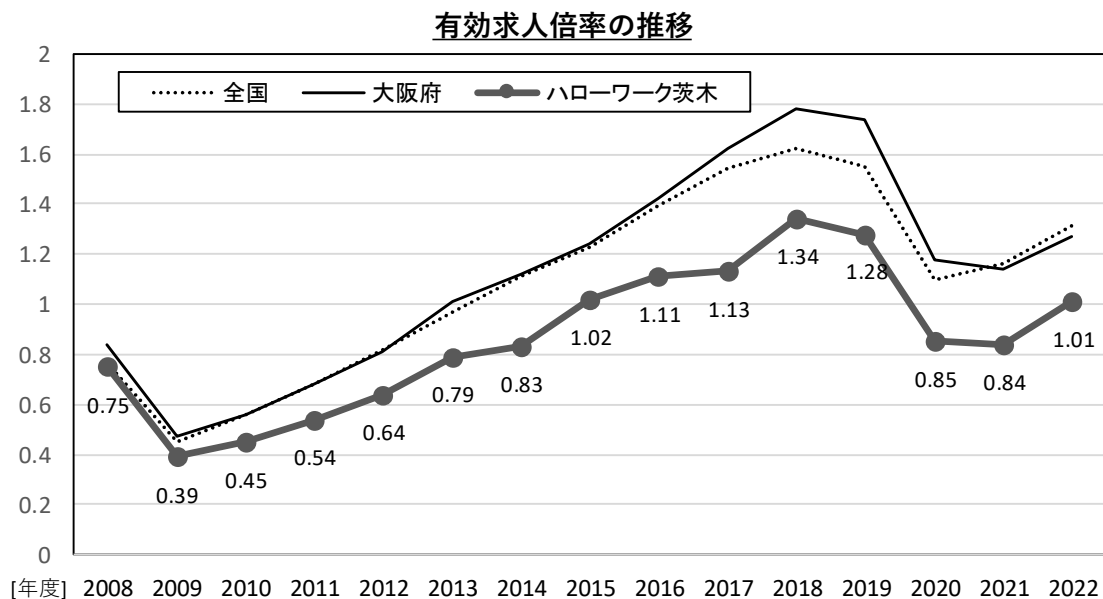
2008年から2022年にかけての推移を見ると、茨木公共職業安定所（ハローワーク茨木※）では、全国平均や大阪府全体と同様に2009年度の有効求人倍率が最も低くなっている。2010年からは、有効求人倍率は増加の一途をたどっており、2018年は1.34と人手不足の状況にあったと考えられる。

その後、2020年に有効求人倍率は減少し、2020年と2021年は2年連続で1.0を下回った。

2022年には1.01と回復するも、全国平均や大阪府全体と比べると、全国平均は0.3ポイント、大阪府全体は0.26ポイント、それぞれハローワーク茨木の方が小さい。

図表-6 有効求人倍率の推移（2008年→2022年）

年度	ハローワーク 茨木	全国	大阪府
2008	0.75	0.77	0.84
2009	0.39	0.45	0.47
2010	0.45	0.56	0.56
2011	0.54	0.68	0.68
2012	0.64	0.82	0.81
2013	0.79	0.97	1.01
2014	0.83	1.11	1.12
2015	1.02	1.23	1.24
2016	1.11	1.39	1.42
2017	1.13	1.54	1.62
2018	1.34	1.62	1.78
2019	1.28	1.55	1.74
2020	0.85	1.10	1.18
2021	0.84	1.16	1.14
2022	1.01	1.31	1.27



出典：ハローワーク茨木 雇用情報

※ハローワーク茨木の区域は、茨木公共職業安定所の管轄区域内（茨木市、高槻市、摂津市、三島郡島本町の3市1町）の合計となっている。

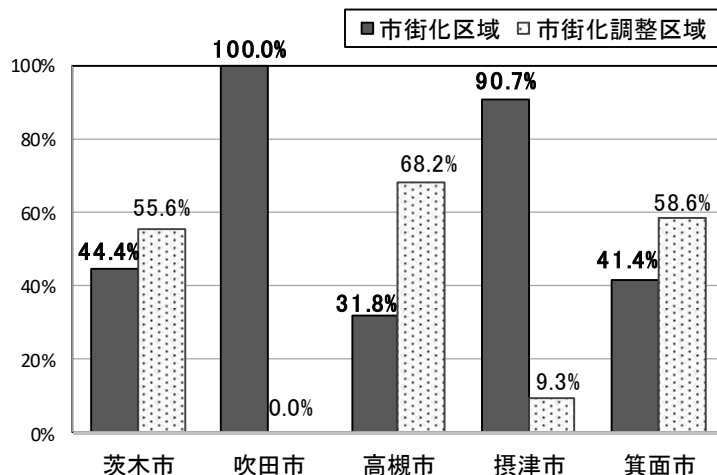
(6) 土地利用

本市の市街化区域は 3,398ha で、市域面積の 44.4%を占める。面積は、吹田市、高槻市と同規模であるが、市域面積からみた割合は吹田市(100.0%)、摂津市(90.7%)の半数以下に止まる。

用途地域別面積やその割合について見ると、茨木市は準工業地域が 898ha と最も多く、市街化区域面積の 26.4%を占める。住居専用地域群や住居地域群の割合が全般的に多い一方で、近隣商業地域及び商業地域や工業地域の構成比が小さい。特に、本市の近隣商業地域及び商業地域(計 151ha)は、市域面積の小さい箕面市(計 181ha)よりも小さくなっている。

図表-7 市街化区域の割合

市街化区域の割合(5市比較)



		市面積	市街化区域	市街化調整区域
茨木市	実数(ha)	7,649	3,398	4,251
	構成比	100.0%	44.4%	55.6%
	資料	※2019年9月20日		
吹田市	実数(ha)	3,609	3,609	0
	構成比	100.0%	100.0%	0.0%
	資料	※2023年11月30日		
高槻市	実数(ha)	10,529	3,344	7,185
	構成比	100.0%	31.8%	68.2%
	資料	※2023年2月28日		
摂津市	実数(ha)	1,487	1,349	138
	構成比	100.0%	90.7%	9.3%
	資料	※2023年12月19日HPより		
箕面市	実数(ha)	4,790	1,985	2,805
	構成比	100.0%	41.4%	58.6%
	資料	※2023年4月1日		

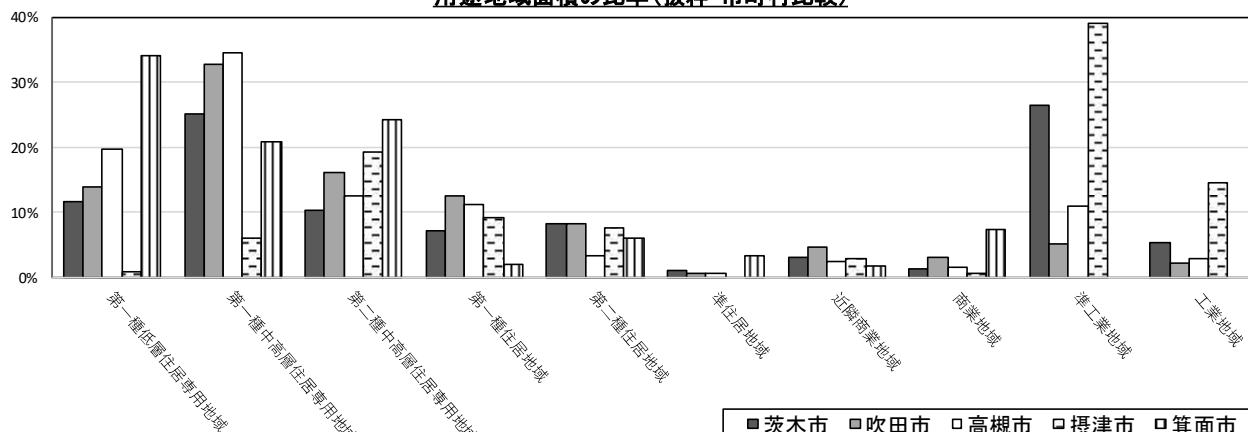
図表-8 用途地域別割合

		第一種低層住居専用地域	第二種低層住居専用地域	第一種中高層住居専用地域	第二種中高層住居専用地域	第一種住居地域	第二種住居地域	準住居地域	近隣商業地域	商業地域	準工業地域	工業地域	情報源
茨木市	実数(ha)	398	3.0	855	348	245	281	34	104	47	898	185	2020年
	構成比	11.7%	0.1%	25.2%	10.2%	7.2%	8.3%	1.0%	3.1%	1.4%	26.4%	5.4%	9月11日
吹田市	実数(ha)	473	6.5	1,123	552	432	286	24	164	107	179	77	2023年
	構成比	13.8%	0.2%	32.8%	16.1%	12.6%	8.4%	0.7%	4.8%	3.1%	5.2%	2.2%	11月30日
高槻市	実数(ha)	662	6.3	1,154	421	371	110	25	78	53	368	94	2023年
	構成比	19.8%	0.2%	34.5%	12.6%	11.1%	3.3%	0.7%	2.3%	1.6%	11.0%	2.8%	2月28日
摂津市	実数(ha)	10.5	0.0	75.7	241.9	115.6	94.8	0.0	36.6	8.5	492.7	182.7	2023年
	構成比	0.8%	0.0%	6.0%	19.2%	9.2%	7.5%	0.0%	2.9%	0.7%	39.1%	14.5%	12月19日HPより
箕面市	実数(ha)	678	4	414	482	39	121	65	34	147	0	0	2023年
	構成比	34.2%	0.2%	20.9%	24.3%	2.0%	6.1%	3.3%	1.7%	7.4%	0.0%	0.0%	4月1日

…近隣4市と比べて少ない

…近隣4市と比べて多い

用途地域面積の比率(抜粋・市町村比較)



2-2. 製造業

(1) 概況

本市の事業所数は、2019 年時点で 175 か所あり、近隣 4 市との比較では摂津市、高槻市に次いで 3 番目に多く、2009 年から 2019 年の 10 年間で 21.9%減少している。従業者数では、10 年間で 10.4%減少しており、大阪府全体や近隣 4 市と比べると高槻市に次いで減少率が高い。製造品出荷額等※では、42.0%減少しており、大阪府全体や近隣 4 市と比べて減少率が最も大きい。

事業所数、従業者数、製造品出荷額等の推移を見ると、事業所数、従業者数は近年それぞれ緩やかに減少している。製造品出荷額等は、本市では 2010 年から 2012 年に大幅な減少がみられ、以降 2017 年までは緩やかに増加しているものの、2017 年以降は再び減少している。

※1 年間における製造品出荷額、加工賃収入額、製造工程から出るくず・廃物の出荷額及びその他収入額の合計。

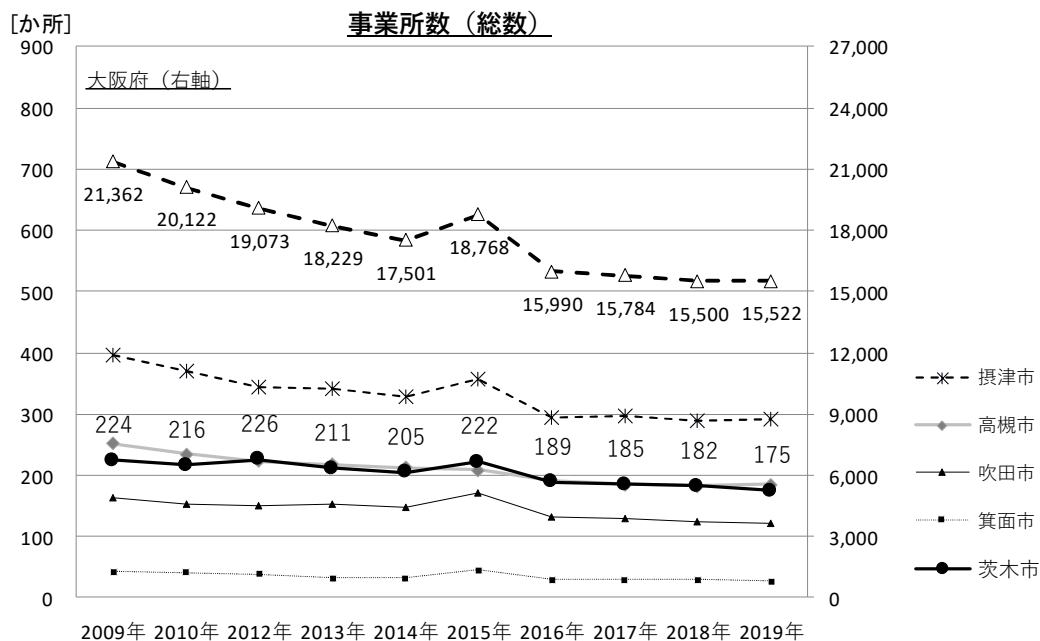
図表-9 事業所数・従業者数・製造品出荷額等の変化 (単位：か所、人、億円)

		実数			増減			増減率		
		2009年	2014年	2019年	'09→'14	'14→'19	'09→'19	'09→'14	'14→'19	'09→'19
事業所数	茨木市	224	205	175	-19	-30	-49	-8.5%	-14.6%	-21.9%
	吹田市	163	148	122	-15	-26	-41	-9.2%	-17.6%	-25.2%
	高槻市	251	213	185	-38	-28	-66	-15.1%	-13.1%	-26.3%
	箕面市	43	32	27	-11	-5	-16	-25.6%	-15.6%	-37.2%
	摂津市	395	328	291	-67	-37	-104	-17.0%	-11.3%	-26.3%
	大阪府	21,362	17,501	15,522	-3,861	-1,979	-5,840	-18.1%	-11.3%	-27.3%
従業者数	茨木市	8,440	8,476	7,565	36	-911	-875	0.4%	-10.7%	-10.4%
	吹田市	5,370	4,848	4,941	-522	93	-429	-9.7%	1.9%	-8.0%
	高槻市	11,623	10,708	9,798	-915	-910	-1,825	-7.9%	-8.5%	-15.7%
	箕面市	1,115	1,010	1,062	-105	52	-53	-9.4%	5.1%	-4.8%
	摂津市	11,274	12,305	13,193	1,031	888	1,919	9.1%	7.2%	17.0%
	大阪府	485,022	443,634	444,362	-41,388	728	-40,660	-8.5%	0.2%	-8.4%
製造品 出荷額等	茨木市	5,085	3,306	2,951	-1,779	-355	-2,134	-35.0%	-10.7%	-42.0%
	吹田市	2,359	2,939	2,671	580	-268	312	24.6%	-9.1%	13.2%
	高槻市	3,537	3,838	4,380	301	542	843	8.5%	14.1%	23.8%
	箕面市	209	212	259	3	47	50	1.4%	22.0%	23.7%
	摂津市	2,716	3,817	3,820	1,101	3	1,104	40.5%	0.1%	40.6%
	大阪府	148,062	165,292	169,384	17,230	4,092	21,322	11.6%	2.5%	14.4%

(注) 従業者 4 人以上の事業所。事業所数及び従業者数については、平成 23 年は平成 24 年 2 月 1 日現在、平成 27 年以降は翌年の 6 月 1 日現在、その他の年次は同じ年の 12 月 31 日現在の数値。

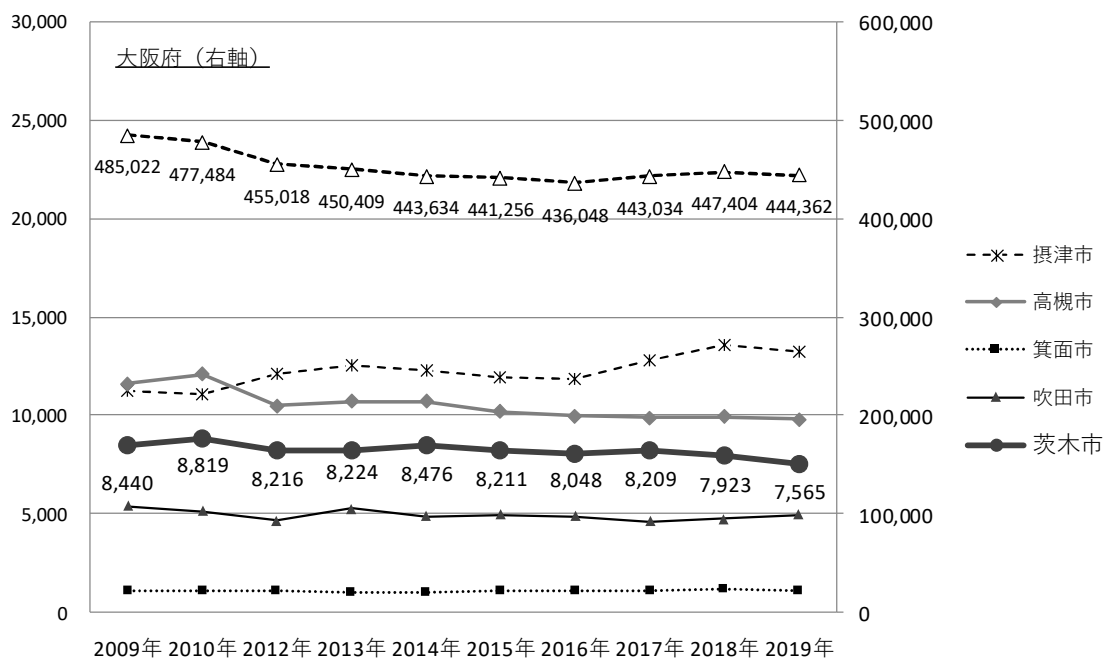
(資料) 大阪府「大阪の工業（各年調査）確報」

図表-10 事業所数・従業者数・製造品出荷額等の推移



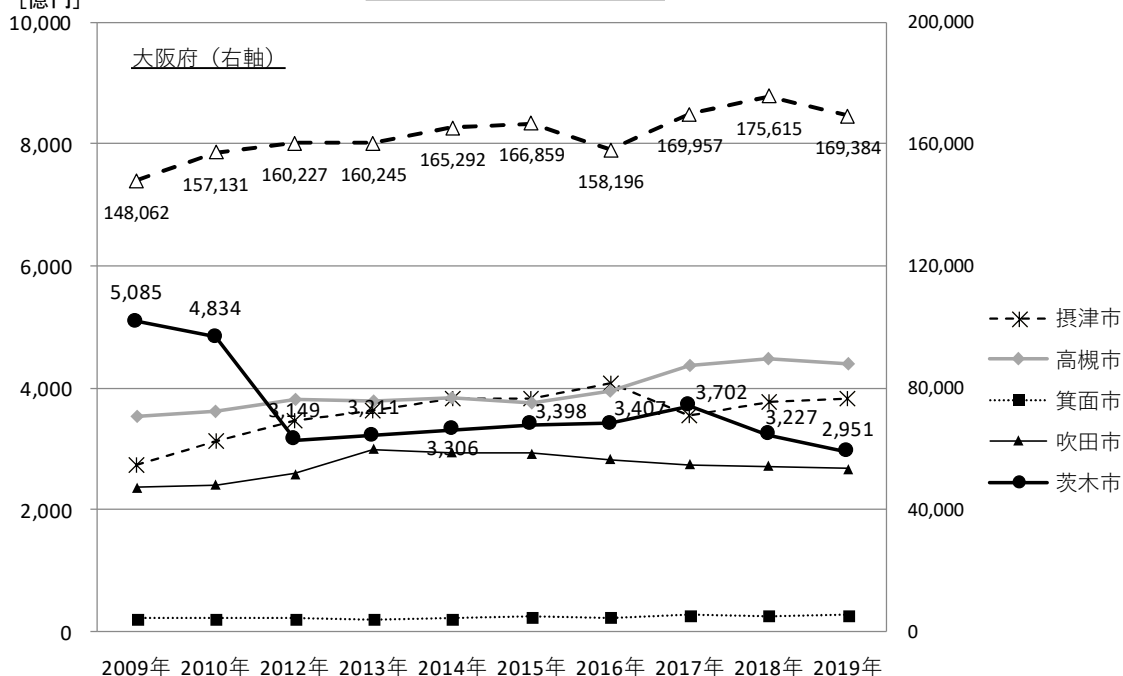
[人]

従業員数（総数）



[億円]

製造品出荷額等（総数）



※2011 年は、市町村別データがないため、省略して推移を整理している。

(資料) 大阪府「大阪の工業(各年調査)確報」

(2) 業種別

従業者数の構成比(2019年)を見ると、本市で最も高いのは「プラスチック製品製造業」(20.0%)である。次いで、「金属製品製造業」(17.5%)、「食料品製造業」(13.6%)、「化学工業」(10.5%)、「生産用機械器具製造業」(10.3%)と続く。

大阪府全体と比べると、「プラスチック製品製造業」「化学工業」の構成比が高くなっている。

近隣4市と比べると、摂津市とは業種別の構成比がやや似ており、「食料品製造業」の構成比が高い吹田市、高槻市、「繊維工業」「電気機械器具製造業」の構成比が高い箕面市とは異なる傾向にある。

図表-11 業種別従業者数・上位8位(2019年)

(単位:人)

順位	茨木市	従業者数	構成比
第1位	プラスチック製品製造業	1,511	20.0%
第2位	金属製品製造業	1,321	17.5%
第3位	食料品製造業	1,026	13.6%
第4位	化学工業	796	10.5%
第5位	生産用機械器具製造業	777	10.3%
第6位	鉄鋼業	366	4.8%
第7位	パルプ・紙・紙加工品製造業	348	4.6%
第8位	輸送用機械器具製造業	289	3.8%

(単位:人)

順位	吹田市	従業者数	構成比
第1位	食料品製造業	1,349	27.3%
第2位	化学工業	446	9.0%
第3位	パルプ・紙・紙加工品製造業	429	8.7%
第4位	印刷・同関連業	367	7.4%
第5位	鉄鋼業	334	6.8%
第6位	生産用機械器具製造業	306	6.2%
第7位	はん用機械器具製造業	280	5.7%
第8位	金属製品製造業	258	5.2%

(単位:人)

順位	高槻市	従業者数	構成比
第1位	食料品製造業	2,003	20.4%
第2位	電気機械器具製造業	1,462	14.9%
第3位	はん用機械器具製造業	1,263	12.9%
第4位	化学工業	1,188	12.1%
第5位	金属製品製造業	692	7.1%
第6位	生産用機械器具製造業	663	6.8%
第7位	プラスチック製品製造業	653	6.7%
第8位	パルプ・紙・紙加工品製造業	477	4.9%

(単位:人)

順位	箕面市	従業者数	構成比
第1位	繊維工業	449	42.3%
第2位	電気機械器具製造業	400	37.7%
第3位	パルプ・紙・紙加工品製造業	48	4.5%
第4位	生産用機械器具製造業	39	3.7%
第5位	ゴム製品製造業	29	2.7%
第6位	窯業・土石製品製造業	26	2.4%
第7位	食料品製造業	23	2.2%
第8位	プラスチック製品製造業	16	1.5%

(単位:人)

順位	摂津市	従業者数	構成比
第1位	化学工業	3,706	28.1%
第2位	プラスチック製品製造業	2,046	15.5%
第3位	食料品製造業	1,385	10.5%
第4位	生産用機械器具製造業	1,145	8.7%
第5位	その他の製造業	864	6.5%
第6位	金属製品製造業	841	6.4%
第7位	はん用機械器具製造業	813	6.2%
第8位	電気機械器具製造業	799	6.1%

(単位:人)

順位	大阪府	従業者数	構成比
第1位	金属製品	63,138	14.2%
第2位	生産用機械	49,780	11.2%
第3位	食料品	48,255	10.9%
第4位	プラスチック製品	33,378	7.5%
第5位	化学	30,793	6.9%
第6位	輸送用機械	28,253	6.4%
第7位	はん用機械	28,163	6.3%
第8位	電気機械	26,572	6.0%

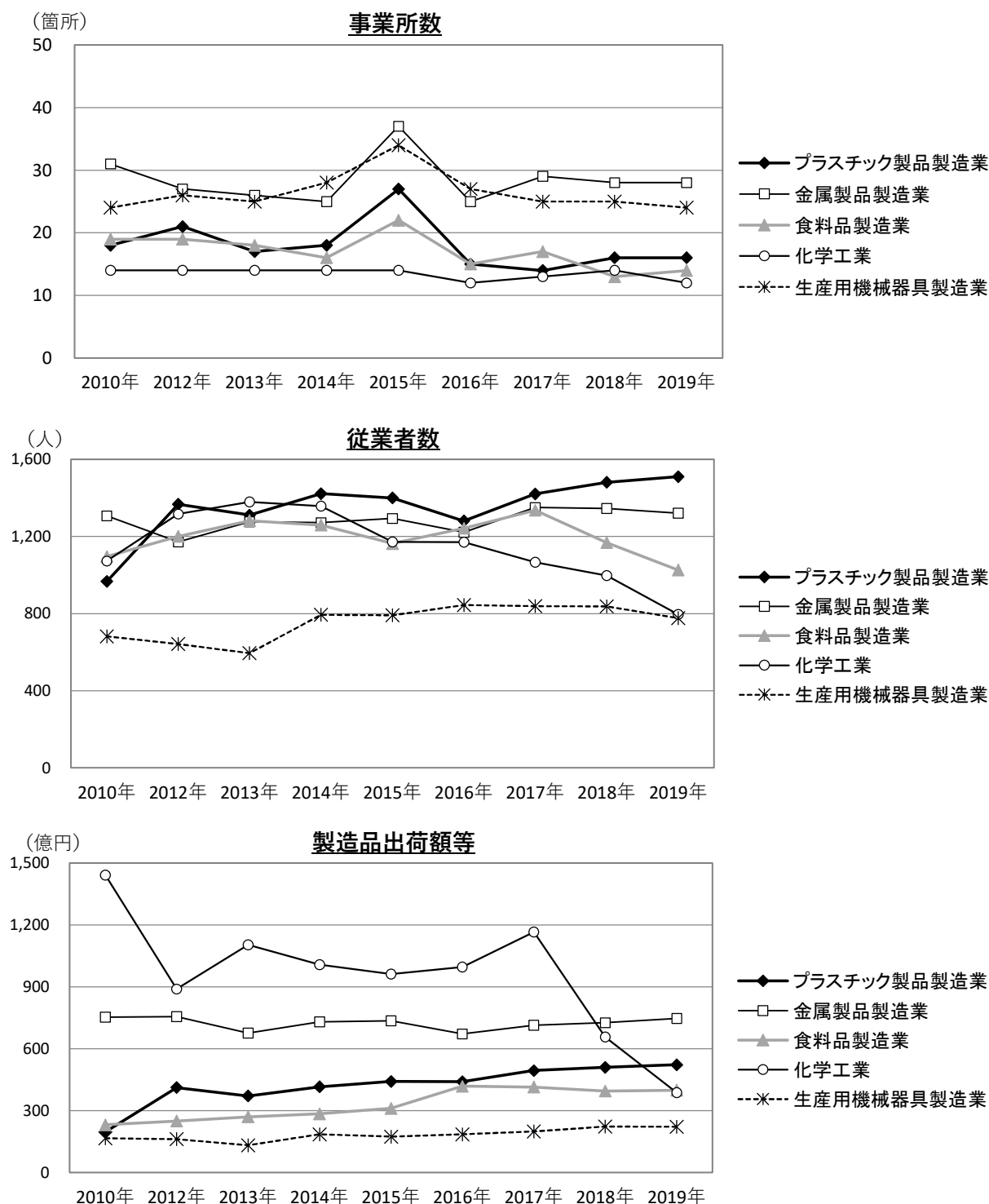
(資料)大阪府「大阪の工業(令和2年(2020年)調査)確報」
※大阪府に限り、分類の名称が異なる。

本市製造業における従業者数の上位5位を占める業種について、事業所数・従業者数・製造品出荷額等の推移を見ると、事業所数において2015年で増加した後に2016年で減少し、以降は2013年とほぼ同数となっている。

従業者数においては、「化学工業」が2014年から2019年で概ね4割減となる一方、「プラスチック製品製造業」は2010年から2012年で大幅に増加し、以降は概ね微増となっている。

製造品出荷額等においては、「化学工業」が2010年から2012年の2年間と、2017年から2019年の2年間でそれぞれ大幅に減少している。特に2017年からの2年間は6割以上の減少である。

図表-12 主要業種別の事業所数・従業者数・製造品出荷額等の推移(本市)



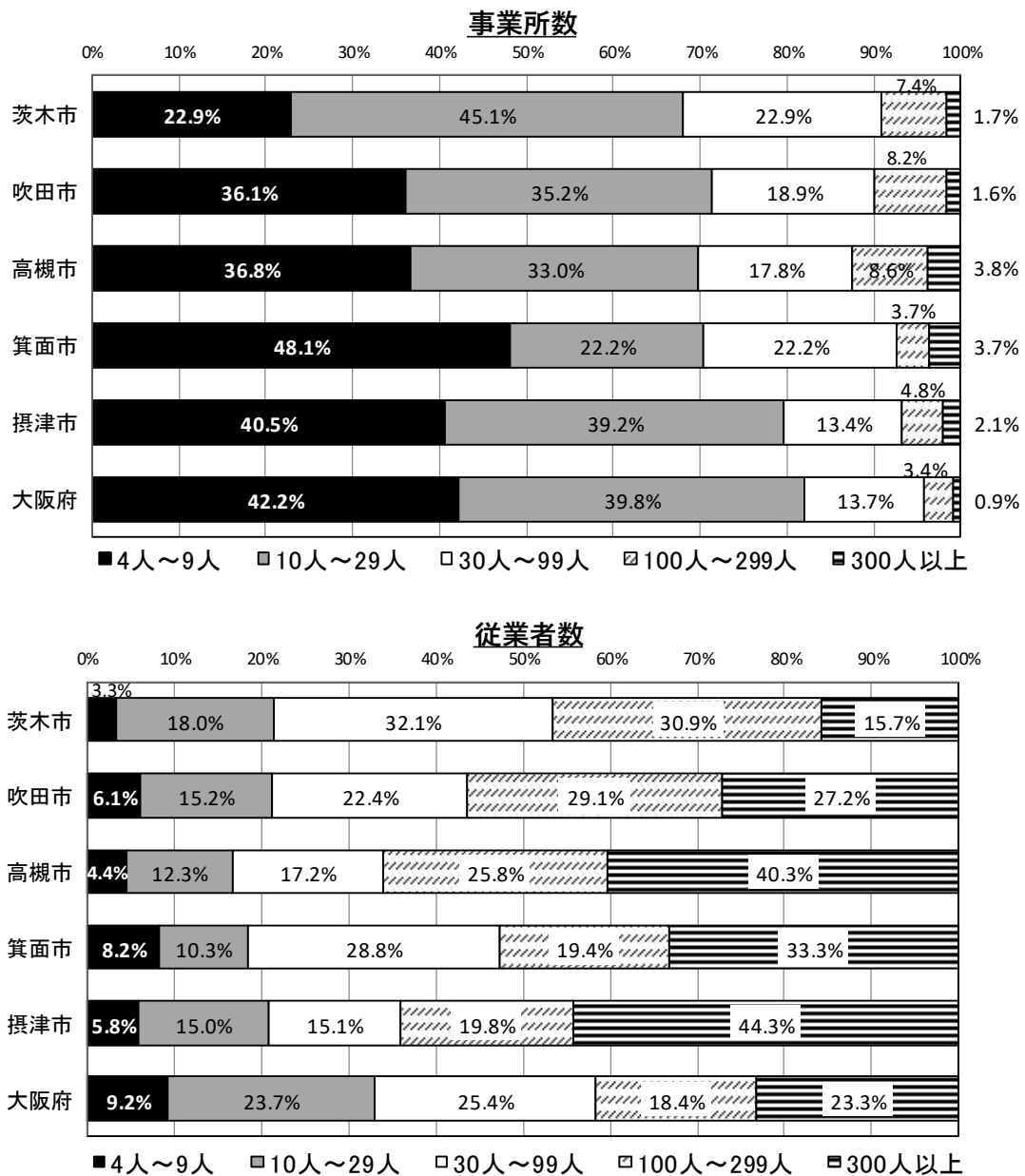
※2011年は、市町村別データがないため、省略して推移を整理している。(資料)大阪府「大阪の工業(各年調査)確報」

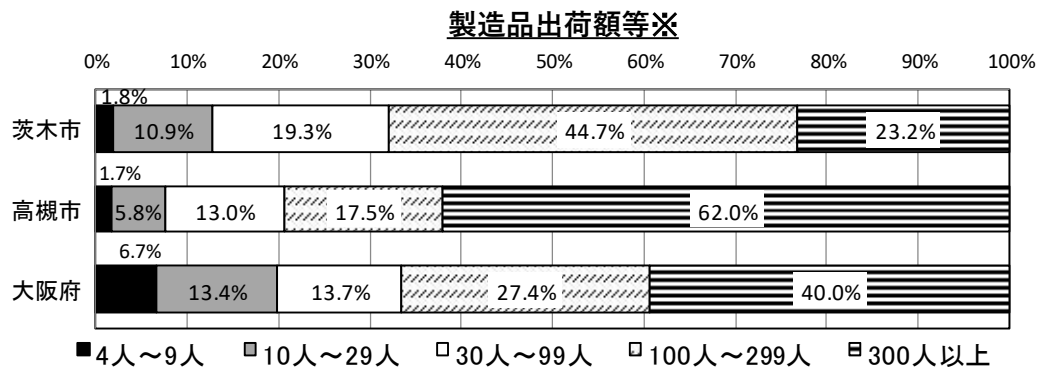
(3) 従業者規模別

本市の製造業事業所の従業者規模別の分布状況を見ると、事業所数では従業者数が 99 人以下の中・小規模事業所が全体の 9 割を占めているが、従業者数では、従業者数 100 人以上の事業所が全体の約半数を占めている。また、製造品出荷額等では、従業者数 100 人以上の事業所が全体の約 3 分の 2 を占めている。

近隣 4 市と大阪府全体と比較すると、本市では 9 名以下の事業所の割合が最も少なくなっている。また、従業者数 100 人～299 人の事業所が従業者数、製造品出荷額等が他と比べて構成比が高く、中堅規模の事業所が活躍しているものと考えられる。

図表-13 従業者規模別の事業所数・従業者数・製造品出荷額等の構成比(2019 年)





(資料) 大阪府「大阪の工業(令和2年(2020年)調査)確報」

※吹田市、箕面市、摂津市は、製造品出荷額等の値を秘匿する従業者規模があり、構成比が算出できないため比較していない。

2-3. 卸売業

(1) 概況

本市の事業所数は2021年時点で481か所、従業者数は6,835人であり、近隣4市との比較では吹田市に次いで2番目に多い。しかし、2016年から2021年の5年間の増減率を比較すると、近隣4市のなかでともに減少率が最も高くなっている。

また、年間商品販売額は5年間で14.7%減少し、箕面市、摂津市について3番目に減少率が高い。

図表-14 卸売業の事業所数・従業者数・年間商品販売額の変化

(単位：か所、人、億円)

		実数		増減	増減率
		2016年	2021年	'16→'21	'16→'21
事業所数	茨木市	554	481	-73	-13.2%
	吹田市	1,067	1,081	14	1.3%
	高槻市	260	252	-8	-3.1%
	箕面市	225	213	-12	-5.3%
	摂津市	255	231	-24	-9.4%
	大阪府	25,998	25,038	-960	-3.7%
従業者数	茨木市	7,792	6,835	-957	-12.3%
	吹田市	13,553	13,655	102	0.8%
	高槻市	2,896	2,788	-108	-3.7%
	箕面市	2,809	2,536	-273	-9.7%
	摂津市	2,628	2,552	-76	-2.9%
	大阪府	339,901	348,450	8,549	2.5%
年間商品販売額	茨木市	8,745	7,459	-1,286	-14.7%
	吹田市	16,354	15,148	-1,206	-7.4%
	高槻市	2,428	2,938	510	21.0%
	箕面市	2,202	1,826	-376	-17.1%
	摂津市	3,521	2,787	-734	-20.8%
	大阪府	459,619	445,994	-13,625	-3.0%

(資料) 総務省「経済センサス(平成8年・令和3年)活動調査」

産業別集計(卸売業、小売業)「産業編(市町村表)」統計表データ

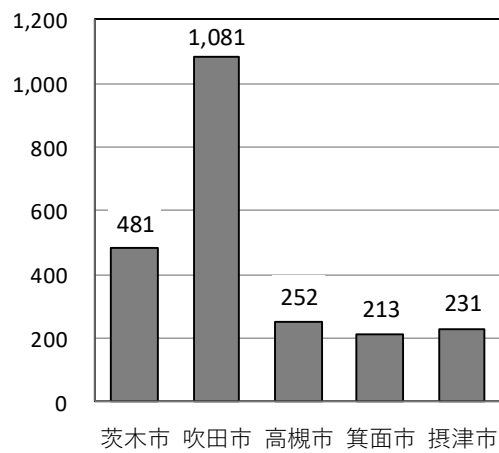
※下のように集計されているため、「2-1. 産業構造」の表中の数値とは合致しない。

「2-4. 小売業」についても同様。

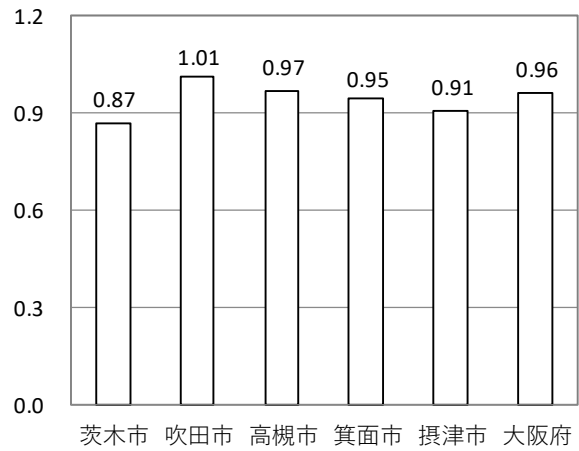
- ・管理、補助的経済活動のみを行う事業所、産業細分類が格付不能の事業所、卸売の商品販売額(仲立手数料を除く)、小売の商品販売額及び仲立手数料のいずれの金額も無い事業所は含まない。
- ・従業者数とは、「個人業主」、「無給家族従業者」、「有給役員」及び「常用雇用者」の計であり、「臨時雇用者」は含めていない。
- ・個人経営の事業所は調査項目に売場面積を含まない。

図表-15 卸売業の事業所数・従業者数・年間商品販売額の変化

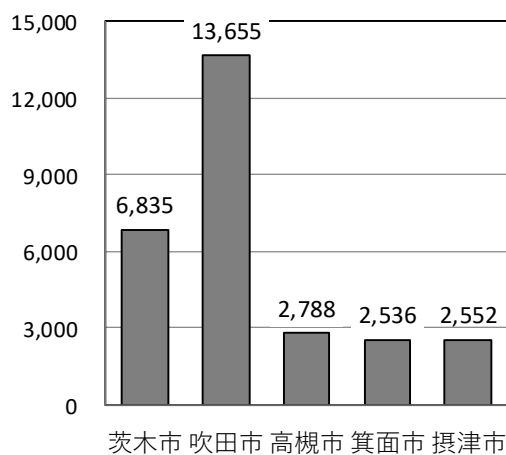
(か所) **卸売業の事業所数(2021年)**



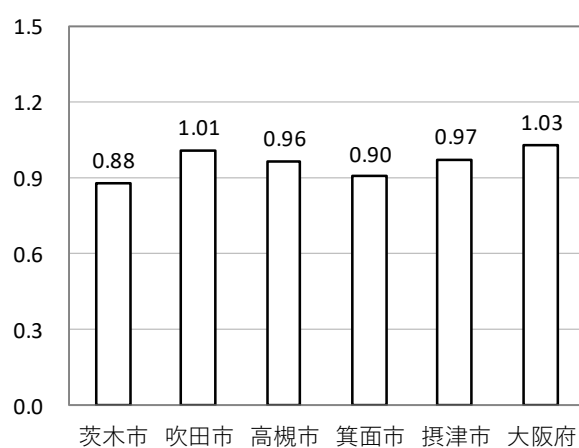
卸売業の事業所数の増減率(2016→2021)



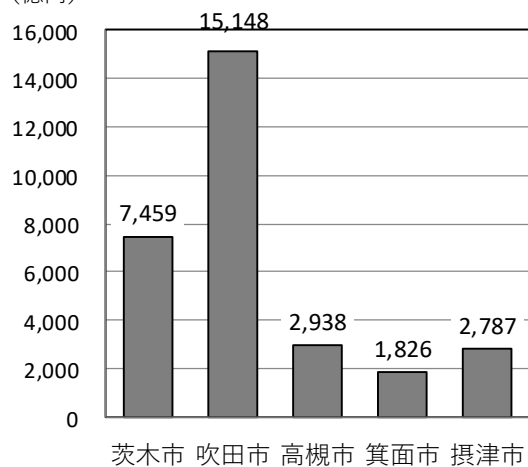
(人) **卸売業の従業者数(2021年)**



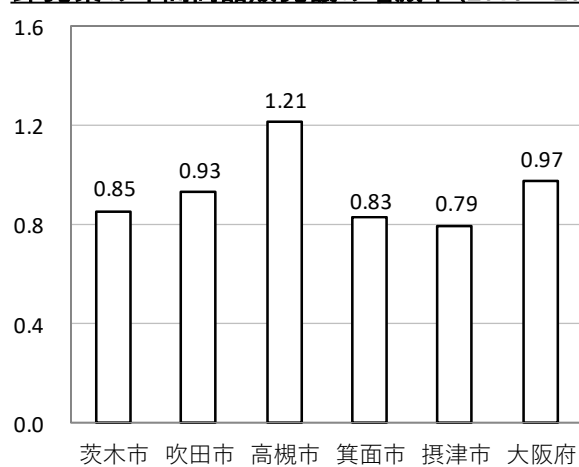
卸売業の従業者数の増減率(2016→2021)



(億円) **卸売業の年間商品販売額(2021年)**



卸売業の年間商品販売額の増減率(2016→2021)



(資料)総務省「経済センサス(平成28年・令和3年)活動調査」
産業別集計(卸売業,小売業)「産業編(市町村表)」統計表データ

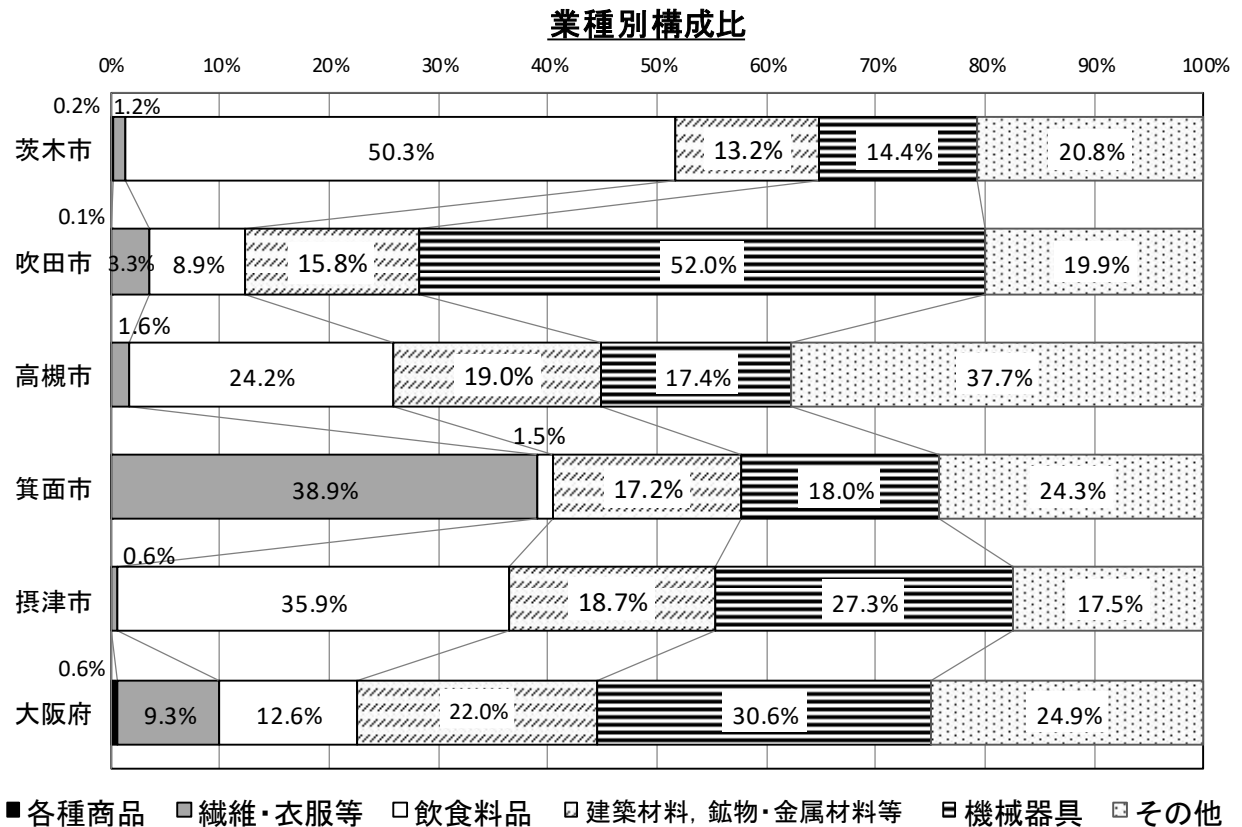
※増減率については、各市、大阪府の2016年時点をもとに1と設定し、各年のその割合を示している。

(2) 業種別

卸売業の従業者数を業種別に見ると、本市南部にある大阪府中央卸売市場に「飲食料品」の卸売事業者が多数入居しているため、飲食料品卸売業の従業者数は全体の半数を占めている。

近隣4市と比べると、摂津市とは業種別の構成比がやや似ており、「機械器具」の構成比が高い吹田市、「その他」の構成比が高い高槻市、「繊維・衣服等」の構成比が高い箕面市とは異なる傾向にある。

図表-16 卸売業の業種別従業者数の構成比(2021 年)



(資料) 総務省「経済センサス(令和3年)活動調査」産業別集計(卸売業,小売業)「産業編(市町村表)」統計表データ

2-4. 小売業

(1) 概況

本市の事業所数は、2021年時点で1,120か所あり、近隣4市との比較では、高槻市、吹田市に次いで3番目に多いが、2016年から2021年の5年間では最も減少率が高い。

従業者数は、5年間で3.6%増加している。年間商品販売額では、5年間で5.0%減少しているが、大阪府全体よりも減少率は低い。売場面積では、5年間で4.9%増加しており、近隣4市との比較では、高槻市、箕面市に次いで3番目に増加率が高い。

図表-17 小売業の事業所数・従業者数・年間商品販売額・売場面積の変化

(単位：か所、人、億円、㎡)

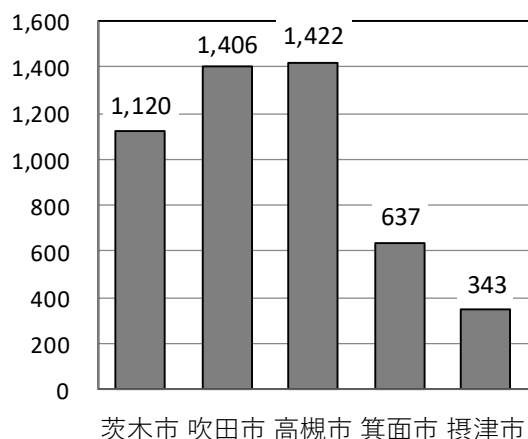
		実数		増減	増減率
		2016年	2021年	'16→'21	'16→'21
事業所数	茨木市	1,200	1,120	-80	-6.7%
	吹田市	1,378	1,406	28	2.0%
	高槻市	1,465	1,422	-43	-2.9%
	箕面市	660	637	-23	-3.5%
	摂津市	356	343	-13	-3.7%
	大阪府	48,673	46,270	-2,403	-4.9%
従業者数	茨木市	12,265	12,711	446	3.6%
	吹田市	14,895	15,557	662	4.4%
	高槻市	15,392	15,092	-300	-1.9%
	箕面市	6,439	7,264	825	12.8%
	摂津市	3,496	3,506	10	0.3%
	大阪府	423,961	428,214	4,253	1.0%
年間商品販売額	茨木市	2,460	2,337	-123	-5.0%
	吹田市	2,845	3,006	162	5.7%
	高槻市	3,122	2,956	-166	-5.3%
	箕面市	1,488	1,618	130	8.8%
	摂津市	696	652	-45	-6.4%
	大阪府	97,312	90,449	-6,863	-7.1%
売場面積	茨木市	190,585	199,844	9,259	4.9%
	吹田市	216,793	216,684	-109	-0.1%
	高槻市	283,830	303,000	19,170	6.8%
	箕面市	119,868	127,107	7,239	6.0%
	摂津市	53,556	54,062	506	0.9%
	大阪府	7,312,781	7,179,161	-133,620	-1.8%

(資料)総務省「経済センサス(平成28年・令和3年)活動調査」

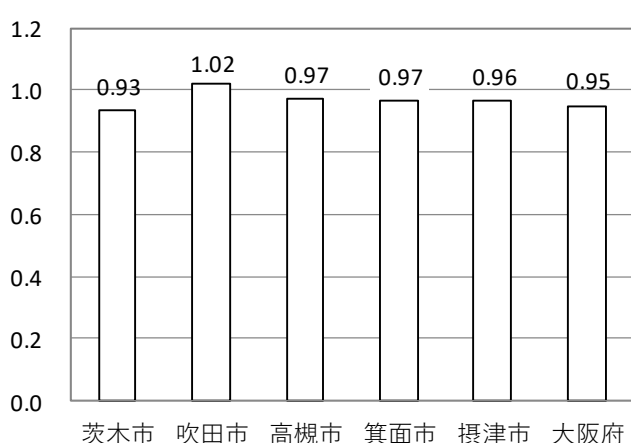
産業別集計(卸売業、小売業)「産業編(市町村表)」統計表データ

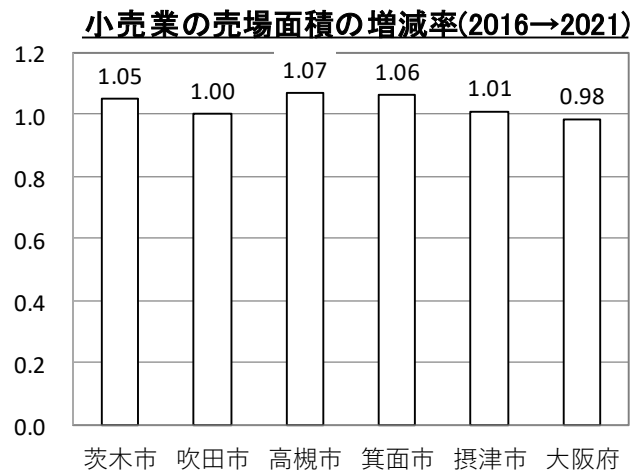
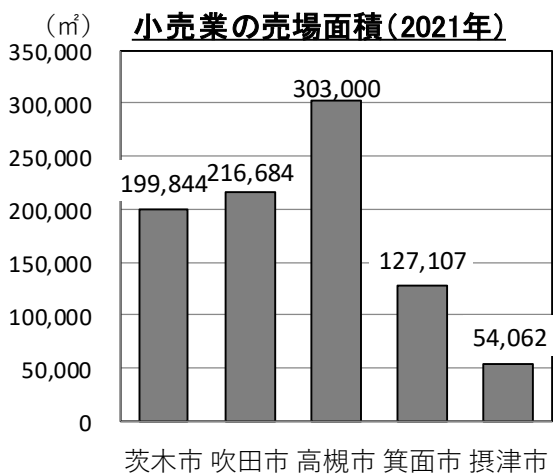
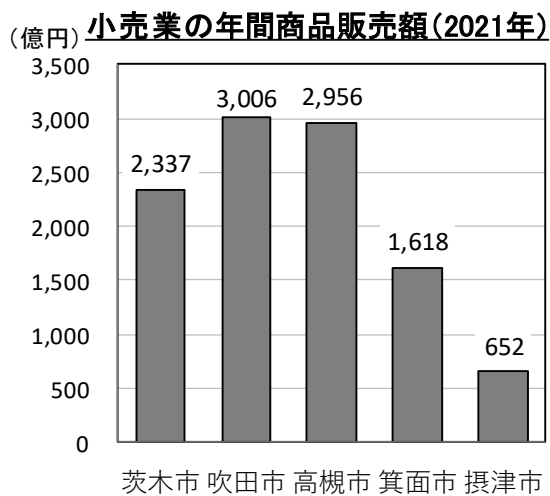
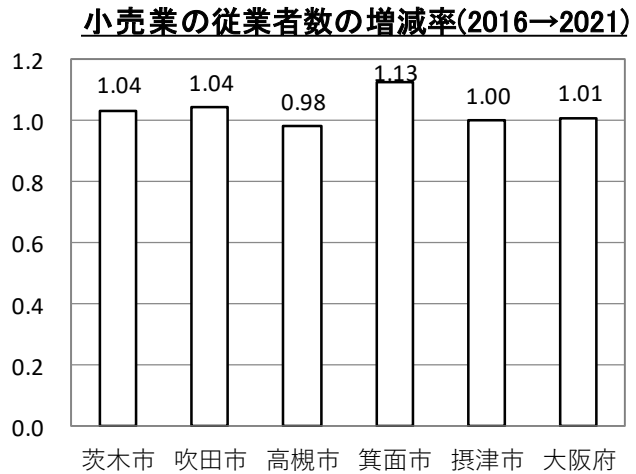
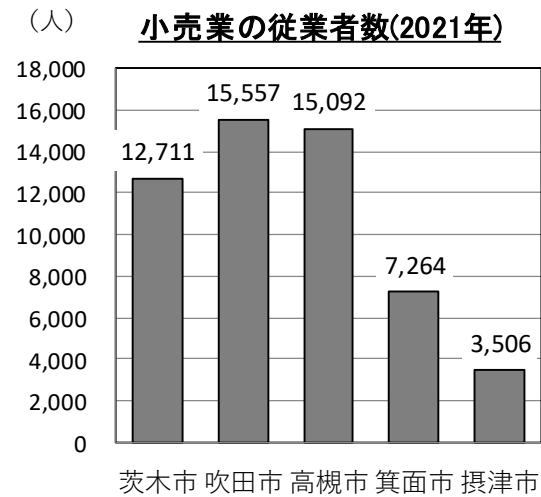
図表-18 小売業の事業所数・従業者数・年間商品販売額の変化

(か所) **小売業の事業所数(2021年)**



小売業の事業所数の増減率(2016→2021)





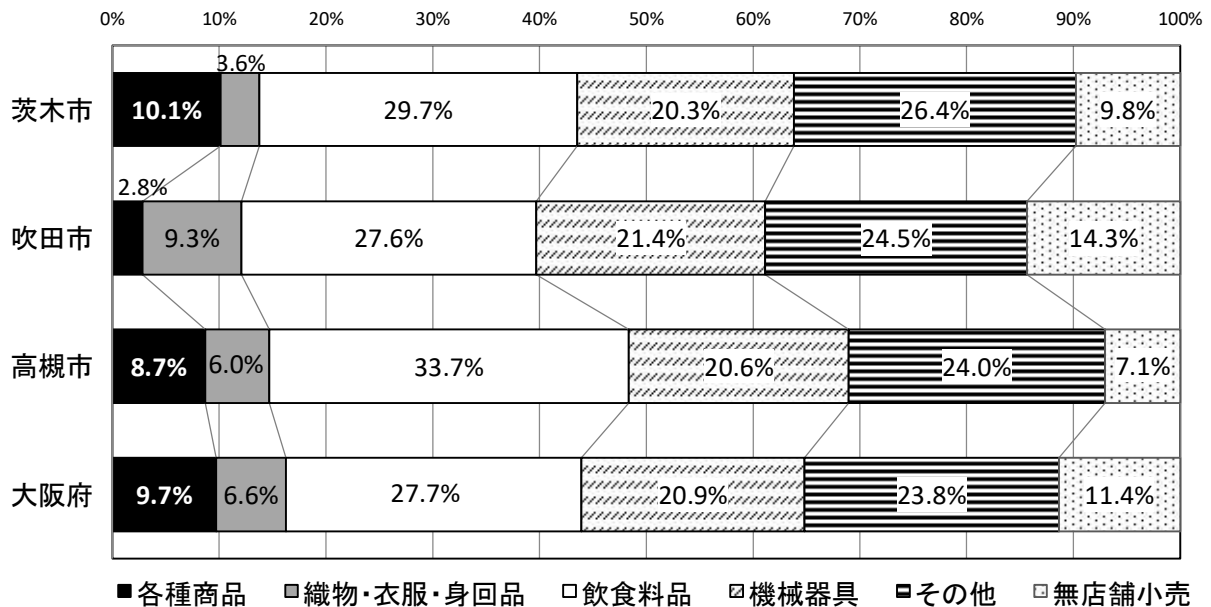
(資料) 総務省「経済センサス(平成28年・令和3年)活動調査」
産業別集計(卸売業,小売業)「産業編(市町村表)」統計表データ

※増減率については、各市、大阪府の2016年時点を1と設定し、各年のその割合を示している。

(2) 業種別

小売業の年間商品販売額を業種別に見ると、本市では「飲食料品」(29.7%)と「その他」(26.4%)の割合が2割以上を占めており多く、これら2つの業種で年間商品販売額の5割以上を占める。近隣市と比べると、「織物・衣服・身回品」や「無店舗小売」の構成比が高い吹田市よりも、高槻市や大阪府全体と傾向が似ている。

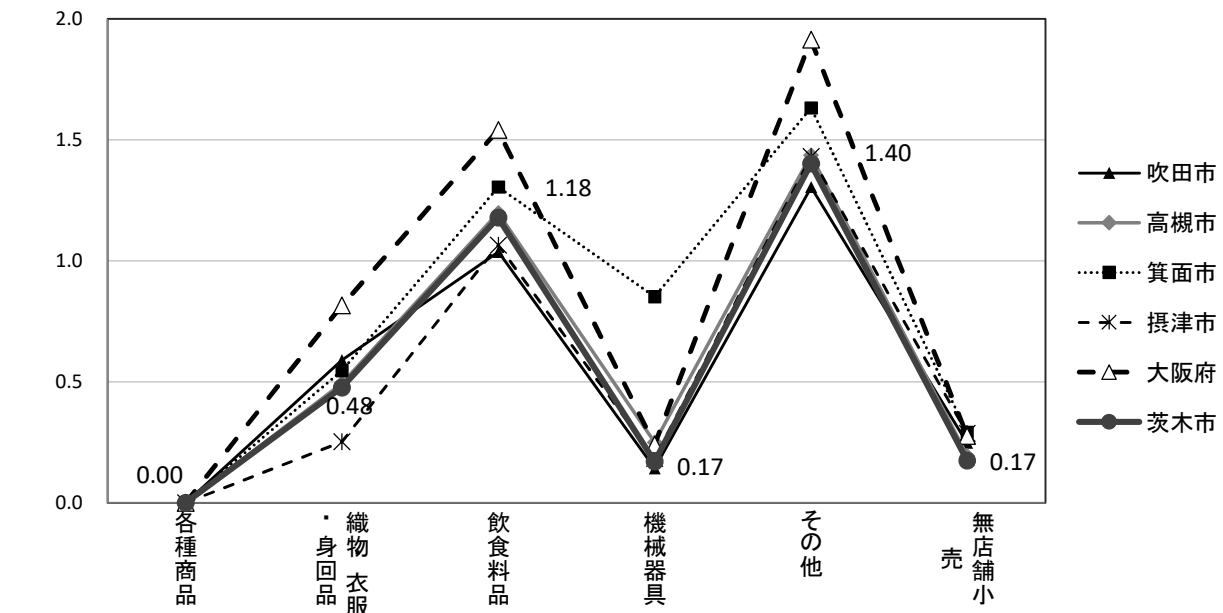
図表-19 小売業の業種別年間商品販売額の構成比(2021年)



(資料)総務省「経済センサス(令和3年)活動調査」産業別集計(卸売業、小売業)「産業編(市町村表)」統計表データ
 ※箕面市、摂津市は、年間商品販売額の値を秘匿する業種があり、構成比が算出できないため、比較していない。

人口1,000人当たりの事業所数(立地密度)を本市と大阪府全体、近隣4市を比較すると、大阪府や箕面市と比べると全体的に少なく、「織物・衣服・身回品」の立地密度が低い摂津市を除く、吹田市や高槻市と傾向が似ており、商業施設の充実度はほぼ同等であるものと考えられる。

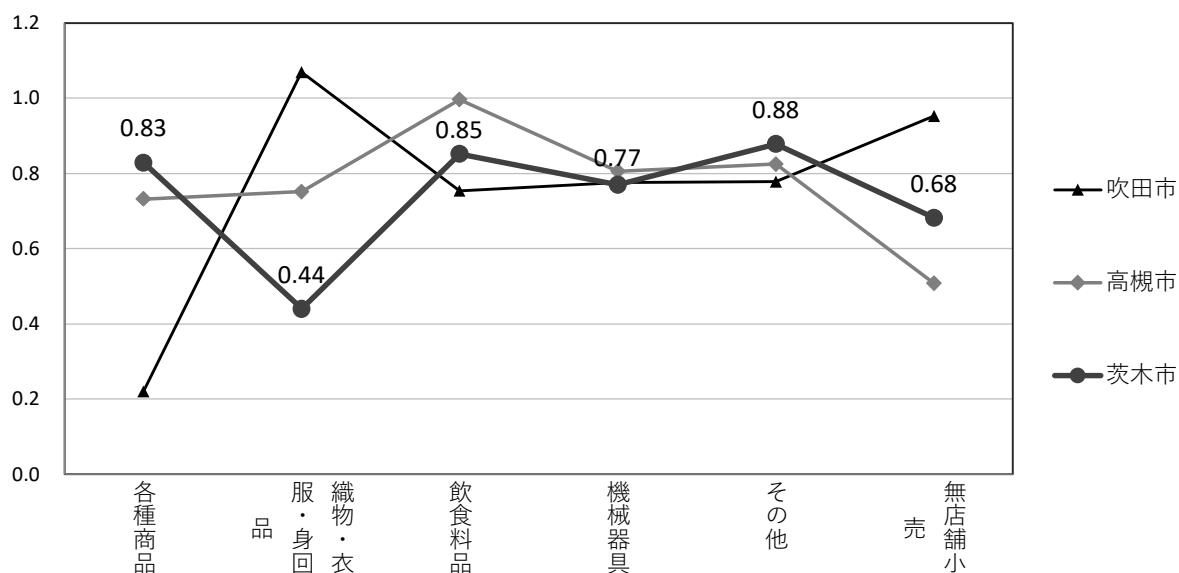
図表-20 小売業の立地密度(2021年・人口1,000人当たり事業所数)



(資料)総務省「経済センサス(令和3年)活動調査」産業別集計(卸売業、小売業)「産業編(市町村表)」統計表データ
 人口は大阪府毎月推計人口(令和3年10月1日現在)を参照。

個店やショッピングセンターなどの商業集積が地域の購買力を自店舗にどれだけ吸引できるかを示す小売吸引力を見ると、本市においては、いずれの業種も1を下回っている。特に、織物・衣服・身回品では0.44と数値が小さく、買い物客が市外へ大幅に流出しているものと考えられる。

図表-21 小売業の小売吸引力(2021 年)



(注) 小売吸引力 = 市の1人当たり販売額 ÷ 大阪府平均の1人当たり販売額

(資料) 総務省「経済センサス(令和3年)活動調査」産業別集計(卸売業, 小売業)「産業編(市町村表)」統計表データ

※箕面市、摂津市は、年間商品販売額の値を秘匿する業種があり、構成比が算出できないため、比較していない。

2-5. サービス業

(1) 概況

本項目では、経済センサスにおける大分類のうち、「情報通信業」「不動産業，物品賃貸業」「学術研究，専門・技術サービス業」「宿泊業，飲食サービス業」「生活関連サービス業，娯楽業」「教育，学習支援業」「医療，福祉」「複合サービス事業」「サービス業（他に分類されないもの）」を、広義の「サービス業」と位置付けて、以下の分析を行っている。

本市のサービス業の事業所数は、2021 年時点で 5,409 か所あり、近隣 4 市との比較では、吹田市、高槻市に次いで 3 番目に多く、2016 年から 2021 年の 4 年間で 0.7%増加している。従業者数では、5 年間で 15.8%増と、大阪府全体や近隣 4 市よりも増加率が高い。

図表-22 サービス業の事業所数・従業者数の変化

		(単位：か所、人)			
		実数		増減	増減率
		2016年	2021年	'16→'21	'16→'21
事業所数	茨木市	5,374	5,409	35	0.7%
	吹田市	6,651	7,135	484	7.3%
	高槻市	5,526	5,776	250	4.5%
	箕面市	2,430	2,490	60	2.5%
	摂津市	1,741	1,745	4	0.2%
	大阪府	209,109	215,437	6,328	3.0%
従業者数	茨木市	49,310	57,111	7,801	15.8%
	吹田市	85,319	96,519	11,200	13.1%
	高槻市	53,965	62,293	8,328	15.4%
	箕面市	22,218	25,102	2,884	13.0%
	摂津市	14,011	15,493	1,482	10.6%
	大阪府	2,167,418	2,434,892	267,474	12.3%

本項で「サービス業」とした産業分類

G 情報通信業

K 不動産業，物品賃貸業

L 学術研究，専門・技術サービス業

M 宿泊業，飲食サービス業

N 生活関連サービス業，娯楽業

O 教育，学習支援業

P 医療，福祉

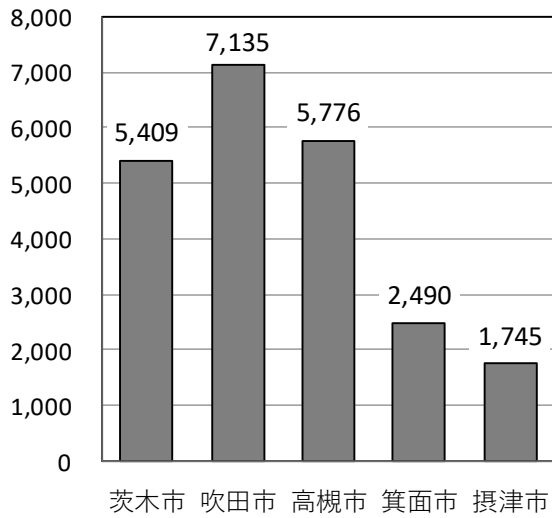
Q 複合サービス事業

R サービス業（他に分類されないもの）

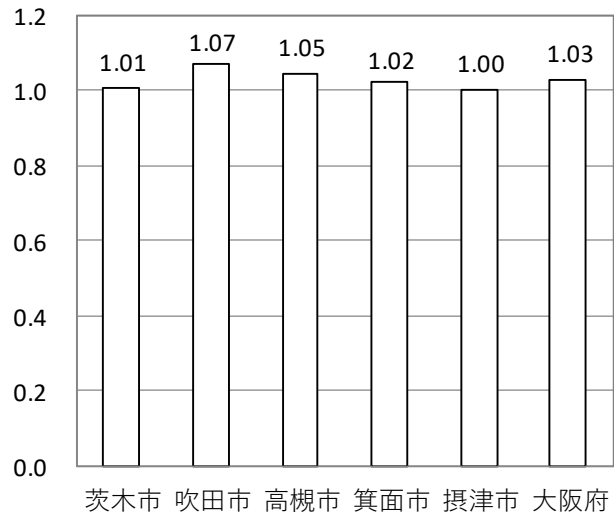
(資料)総務省「経済センサス(平成28年・令和3年)活動調査」

図表-23 サービス業の事業所数・従業者数の変化

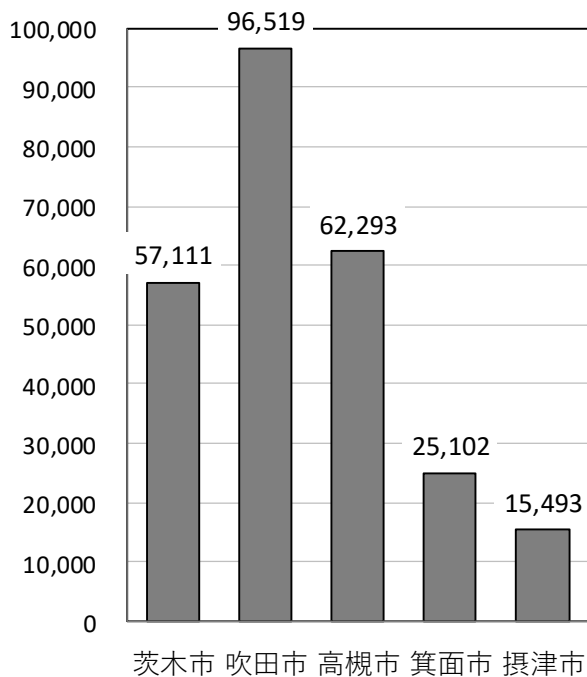
(か所) **サービス業の事業所数(2021年)**



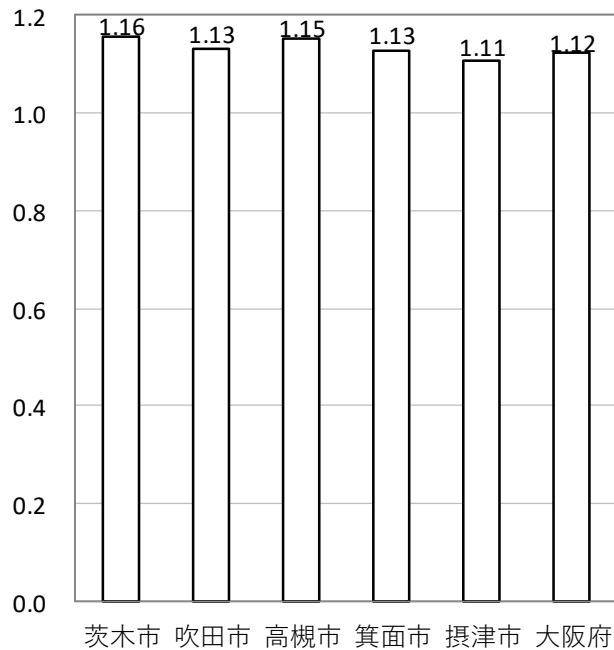
サービス業の事業所数の増減率(2016→2021)



(人) **サービス業の従業者数(2021年)**



サービス業の従業者数の増減率(2016→2021)



(資料) 総務省「経済センサス(令和3年)活動調査」

※増減率については、各市、大阪府の平成28年時点を1と設定し、各年のその割合を示している。

(2) 業種別

サービス業の内訳を業種別従業者数から見ると、本市では「医療、福祉」(32.3%)が最も多く、大阪府全体よりも構成比が高い。

近隣4市と比べると、「学術研究、専門・研究サービス業」の構成比が最も高くなっている。また、2番目に多い「教育、学習支援業」は吹田市の次に構成比が最も高い。

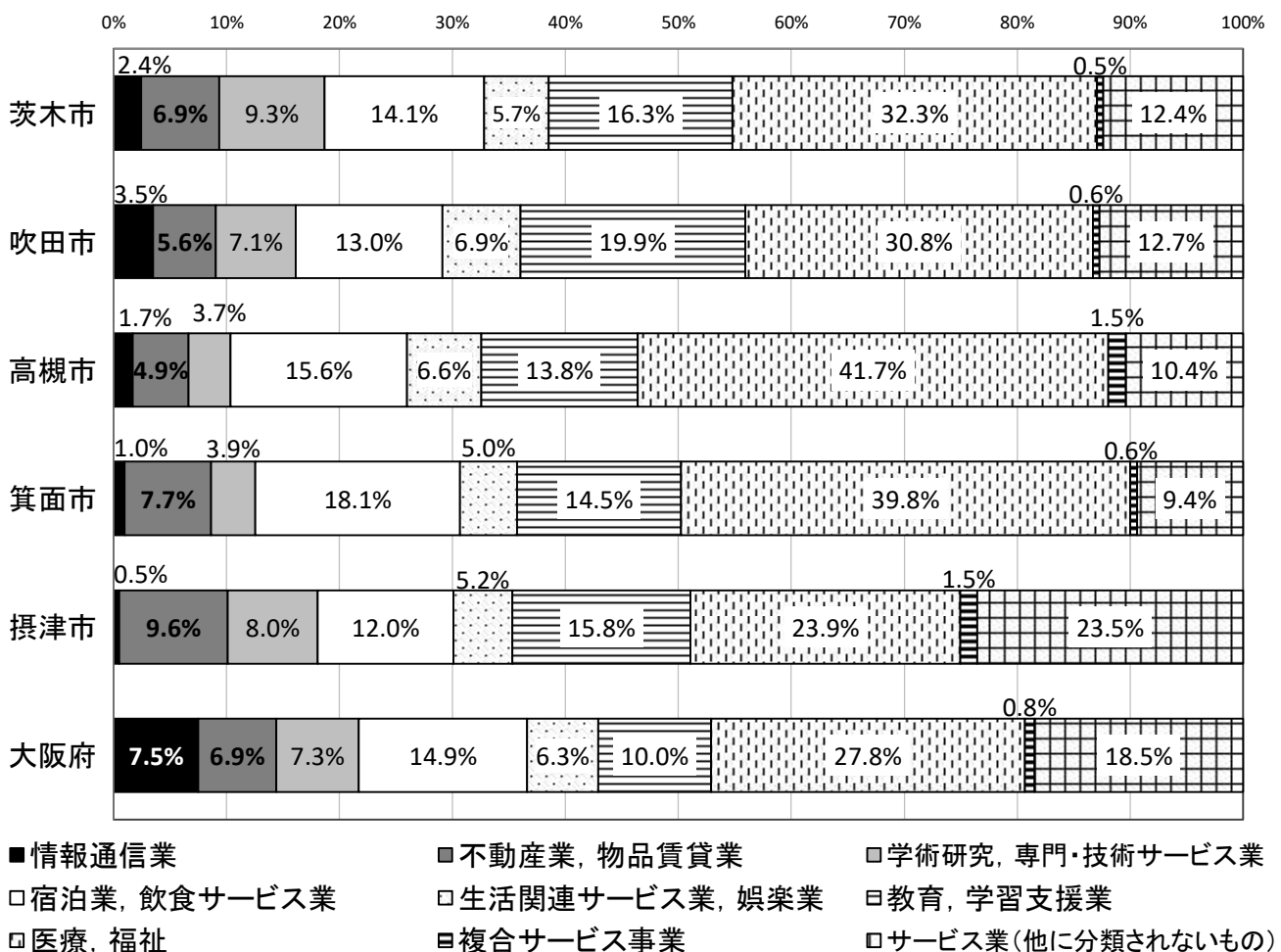
図表-24 サービス業の業種別従業者数(2021年)

(単位:人)

従業者数(2021年)	茨木市	吹田市	高槻市	箕面市	摂津市	大阪府	茨木市	吹田市	高槻市	箕面市	摂津市	大阪府
総数	57,111	96,519	62,293	25,102	15,493	2,434,892	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
情報通信業	1,387	3,370	1,060	243	78	182,399	2.4%	3.5%	1.7%	1.0%	0.5%	7.5%
不動産業、物品賃貸業	3,951	5,363	3,068	1,925	1,485	168,090	6.9%	5.6%	4.9%	7.7%	9.6%	6.9%
学術研究、専門・技術サービス業	5,327	6,839	2,314	977	1,238	178,054	9.3%	7.1%	3.7%	3.9%	8.0%	7.3%
宿泊業、飲食サービス業	8,064	12,506	9,738	4,554	1,858	362,915	14.1%	13.0%	15.6%	18.1%	12.0%	14.9%
生活関連サービス業、娯楽業	3,272	6,695	4,101	1,266	811	153,396	5.7%	6.9%	6.6%	5.0%	5.2%	6.3%
教育、学習支援業	9,293	19,206	8,615	3,645	2,443	242,942	16.3%	19.9%	13.8%	14.5%	15.8%	10.0%
医療、福祉	18,435	29,700	25,958	9,985	3,702	676,932	32.3%	30.8%	41.7%	39.8%	23.9%	27.8%
複合サービス事業	308	569	962	148	232	20,377	0.5%	0.6%	1.5%	0.6%	1.5%	0.8%
サービス業(他に分類されないもの)	7,074	12,271	6,477	2,359	3,646	449,787	12.4%	12.7%	10.4%	9.4%	23.5%	18.5%

(資料)総務省「経済センサス(令和3年)活動調査」

図表-25 サービス業の業種別従業者数の構成比(2021年)



(資料)総務省「経済センサス(令和3年)活動調査」

2-6. まとめ

(1) 産業構造

- 従業者数が多いのは、「卸売業、小売業」「医療、福祉」「運輸業、郵便業」「製造業」であり、これらの4つの産業で市内従業者数全体のほぼ6割（60.7%）を占める。このうち、「運輸業、郵便業」「医療、福祉」は大阪府全体よりも構成比が高い。
- 2016年から2021年にかけての5年間では、事業所数は減少する一方、従業者数は増加。「情報通信業」「運輸業、郵便業」「学研究、専門・技術サービス業」において従業者数の顕著な増加がみられる一方で、「宿泊業、飲食サービス業」「卸売業、小売業」「生活関連サービス業、娯楽業」「金融業、保険業」は従業者数が300人以上減少した。
- 従業者規模別の推移を見ると、「50～99人」では事業所数、従業者数ともに減少している。一方、「100人以上」では、事業所数、従業者数ともに増加し、特に従業者数の増加率は近隣都市や大阪府全体よりも大きい。
- 2020年から2021年にかけては開業率が増加し、廃業率が減少したが、2022年には開業率の減少、廃業率の増加の傾向が再びみられることから、今後も廃業率増加の傾向が続く可能性があるものと懸念される。
- 茨木公共職業安定所における有効求人倍率は、2009年度を底として増加の一途をたどっていたが、2020年に大幅に減少し、2020年と2021年は2年連続で1.0を下回った。2022年には1.01と回復しているが、全国平均や大阪府全体と比べると小さい。
- 本市の市街化区域は吹田市、高槻市と同規模である。用途地域では住居系の地域群の割合が大きく、近隣商業地域・商業地域の面積が小さい。

(2) 製造業

- 最近10年間では、大阪府全体や近隣4市と同様に、事業所数・従業者数・製造品出荷額等ともに減少している。特に、2017年から2019年に大幅に減少している製造品出荷額等は府や近隣都市よりも減少率が高い。
- 従業者数の最も多い業種は「プラスチック製品製造業」であり、「金属製品製造業」、「食料品製造業」「化学工業」と続く。これらは、大阪府全体と比べても構成比が高い。
- 従業者規模別の分布状況を見ると、事業所数では99人以下の中・小規模事業所が全体の9割を占めているが、従業者数及び製造品出荷額等では従業者数30人～99人ないし100人～299人の事業所が大阪府全体や近隣4市と比べて構成比が高く、中小・中堅規模の事業所が活躍しているものと考えられる。

(3) 卸売業

- 2016年から2021年にかけての5年間では、事業所数・従業者数・年間商品販売額ともに減少しており、特に従業者数と事業所数の減少率が大阪府全体や近隣4市よりも大きい。
- 大阪府中央卸売市場に「飲食料品」の卸売事業者が多数入居しているため、飲食料品卸売業の従業者数は全体の概ね5割を占めており、なおかつ販売額も大きい。

(4) 小売業

- 2016 年から 2021 年にかけての 5 年間では、従業者数・売場面積は増加している一方で、事業所数・年間商品販売額は減少している。
- 年間商品販売額が多いのは、「飲食料品」「その他」であり、これらの 2 つの業種で年間商品販売額の 5 割以上を占める。
- 近隣 4 市と商業施設の充実度はほぼ同等である。
- 小売吸引力は、いずれの業種も 1 を下回っており、特に織物・衣服・身回品では 0.44 と小さい。買い物客が大阪市や京都市といった市外へ流出しているものと考えられる。

(5) サービス業

- 2016 年から 2021 年にかけての 5 年間では、近隣 4 市と同様に事業所数・従業者数ともに増加しており、中でも従業者数は大阪府全体や近隣 4 市よりも増加率が高い。
- 従業者数が最も多いのは「医療、福祉」であり、大阪府全体よりも構成比が高い。また、近隣 4 市と比べると、「学研究、専門・研究サービス業」「教育、学習支援業」の構成比が高い水準にある。